

# 第5次常滑市総合計画

## 点検・評価報告書

(平成28～30年度の3か年)

令和2年5月

常滑市

# 目次

<b>1</b>	<b>点検・評価の目的</b>	.....	1
<b>2</b>	<b>総合計画の体系</b>	.....	2
<b>3</b>	<b>人口及び財政の状況</b>	.....	3
	(1) 将来人口(目標)と現状	.....	3
	(2) 歳入・歳出(一般会計)の推移	.....	4
<b>4</b>	<b>基本計画(前期)の点検・評価</b>	.....	5
	(1) 分野別の主な実績及び課題	.....	5
	(2) 点検・評価のとりまとめ	.....	11
	(3) 行財政改革の取組及び実績	.....	13
<b>5</b>	<b>市民アンケート調査結果の概要</b>	.....	14
	(1) アンケート調査結果	.....	14
	(2) アンケート結果の分析	.....	15
<b>6</b>	<b>点検・評価の総括</b>	.....	16
<b>7</b>	<b>今後のスケジュール</b>	.....	17
	<b>【資料編：施策別の評価及び取組状況】</b>	.....	19
	【第1節】 人を育み、誰もが生き生きと暮らすまちづくり	.....	20
	【第2節】 安心・安全で環境にやさしいまちづくり	.....	26
	【第3節】 快適で住みやすいまちづくり	.....	30
	【第4節】 活力とにぎわいのあるまちづくり	.....	33
	【第5節】 とともに創るまちづくり	.....	39
	<b>【資料編：行財政改革の取組状況】</b>	.....	44

# 1 点検・評価の目的

本市では、平成28年度から令和6年度までの9年間の計画期間とする「第5次常滑市総合計画」の基本構想で定めた将来の都市像「感動を次代につなぎ 世界に開くまち とこなめ」～焼き物・海・空を生かして～」の実現に向け、まちづくりを進めてきた。

そして、前期基本計画では、将来の都市像を目指し、これを実現するための5つの基本目標(施策の大綱)を定め、分野ごとに施策を示し、取組を進めてきた。

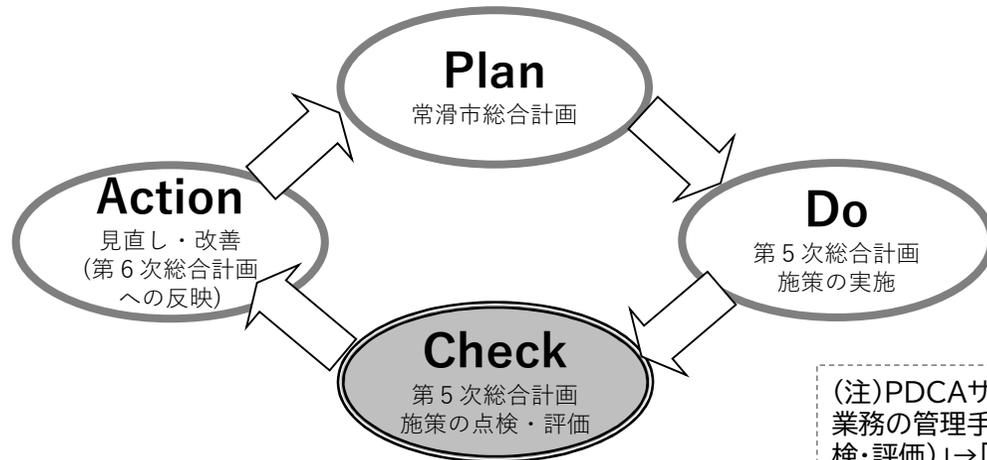
こうした中、空港島及び内陸部での動きや少子高齢化に伴う人口構造の変化など、本市を取り巻く環境が大きく変化してきたことから、計画期間の途中である第5次常滑市総合計画を見直し、新たなまちづくりの指針として、第6次常滑市総合計画を策定することとした。

本報告書は、第5次常滑市総合計画について、点検・評価を行うとともに課題を整理し、第6次常滑市総合計画策定のための基礎資料として活用するため、作成したものである。

基本計画については前期計画期間(平成28～令和2年度)5年間のうち、平成30年度までの3年間における各施策の実施状況から、点検・評価を行った。

なお、第5次常滑市総合計画では、PDCAサイクルに沿った進行管理を行い、施策の継続的な見直し・改善による柔軟な運用を図り、社会経済情勢や市民ニーズの変化に的確に対応するとともに実効性を確保することとしている(図表1)。

【図表1:PDCAサイクル(※)のイメージ】



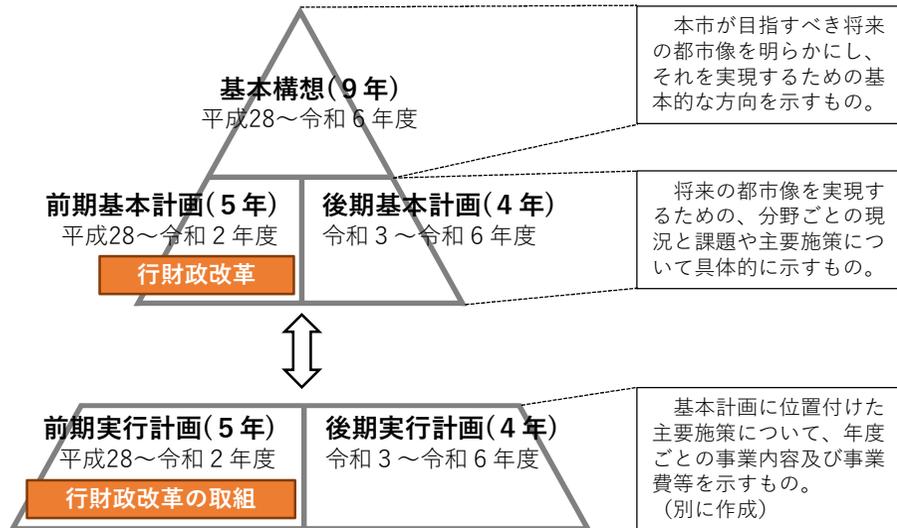
(注)PDCAサイクル:  
業務の管理手法の一つであり、「Plan(計画)」→「Do(実施)」→「Check(点検・評価)」→「Action(見直し・改善)」の4つのステップを繰り返し行うことで、継続的に改善していく手法。

## 2 総合計画の体系

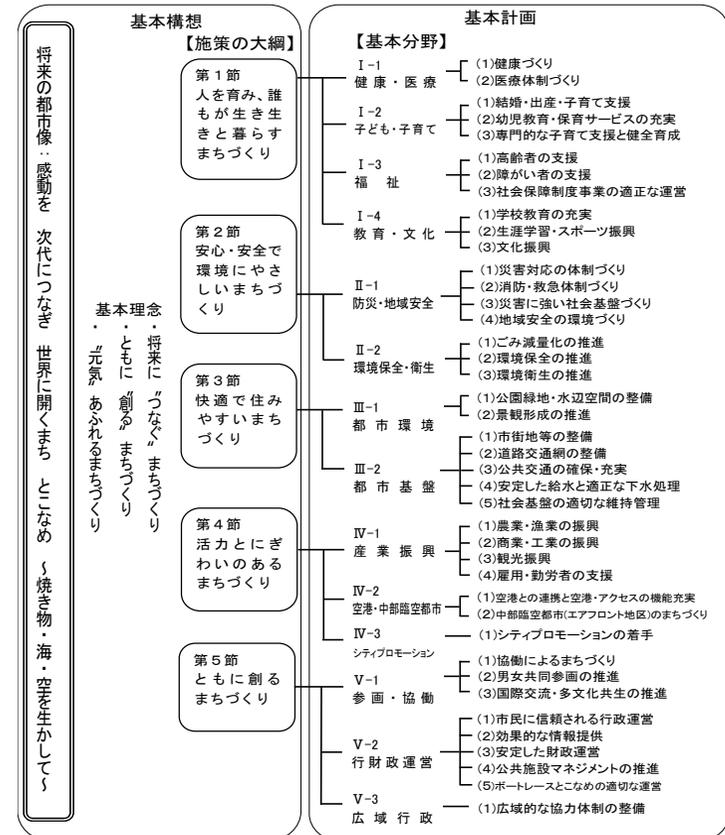
第5次常滑市総合計画は、「基本構想」、「基本計画」及び「実行計画」で構成し、常滑市が目指すまちづくりの指針となるものである。「基本構想」で定めた将来の都市像及び第1節から第5節までの施策の大綱を実現するために必要となる施策を「基本計画」において体系的に示している(図表2、図表3)。

なお、行財政改革の考え方については第5次常滑市総合計画の前期基本計画に組み込んでおり、これまでの「常滑市行財政再生プラン2011(平成23～27年度)」における基本方針を踏襲し、行政サービスを本市の身の丈に合った水準とし、引き続き、持続可能な安定した財政運営の基礎づくりを進めることとしている。

【図表2:計画構成のイメージ】



【図表3:計画の体系】



### 3 人口及び財政の状況

#### (1) 将来人口(目標)と現状

本市の人口は、中部国際空港開港以降、集合住宅や土地区画整理事業地区などへの空港関連従業員等の流入により増加を続けてきたが、近年は人口増加のペースが緩やかになってきている。

第5次常滑市総合計画では、全国的な人口減少の流れを受け、平成28年2月に策定した「常滑市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と整合を図りながら各種施策・事業を推進し、少子化に歯止めをかけるとともに人口の緩やかな増加を図ることとし、計画期間最終年度の令和6年度に将来人口を6万人とした。

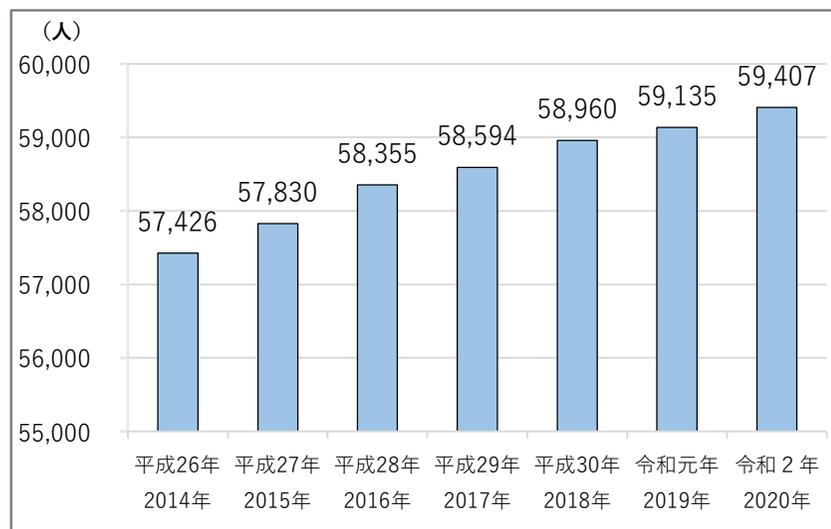
令和2年3月末現在の人口は59,407人であり、計画期間の途中であるものの、将来人口(目標)に向けて順調に推移している(図表4、図表5)。

第5次常滑市総合計画の将来人口 ※第5次常滑市総合計画18ページから抜粋

#### 第2章 将来人口

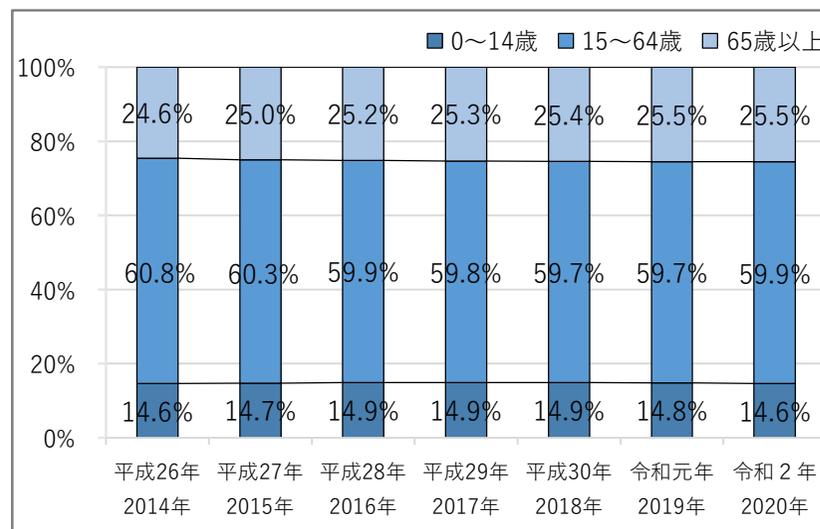
平成36(2024)年度の将来人口を6万人とします。

【図表4:人口の推移】



資料:市民窓口課 各年3月31日現在

【図表5:年齢構成3区分別の構成比の推移】



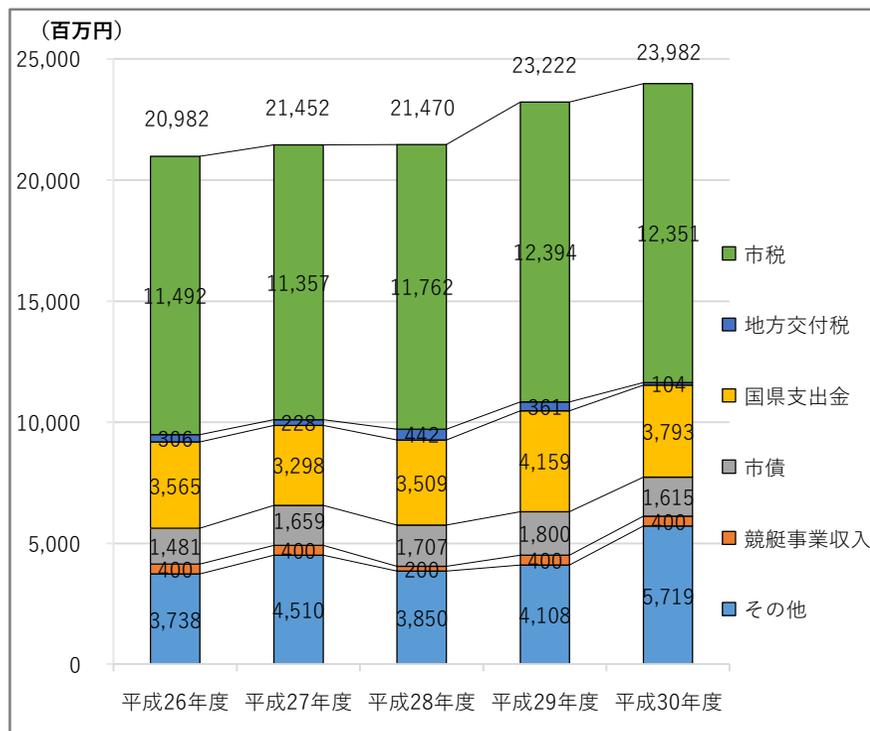
資料:市民窓口課 各年3月31日現在

## (2) 歳入・歳出(一般会計)の推移

本市の歳入のうち、大きな要素である市税収入は、空港開港に伴う空港関連税収を中心に増加し、平成29年度以降は120億円超で推移している。これまでは、空港の業績好調及び中部臨空都市への企業立地などの影響を受けて増加傾向にある。競艇事業収入は、概ね4億円で推移している(図表6)。

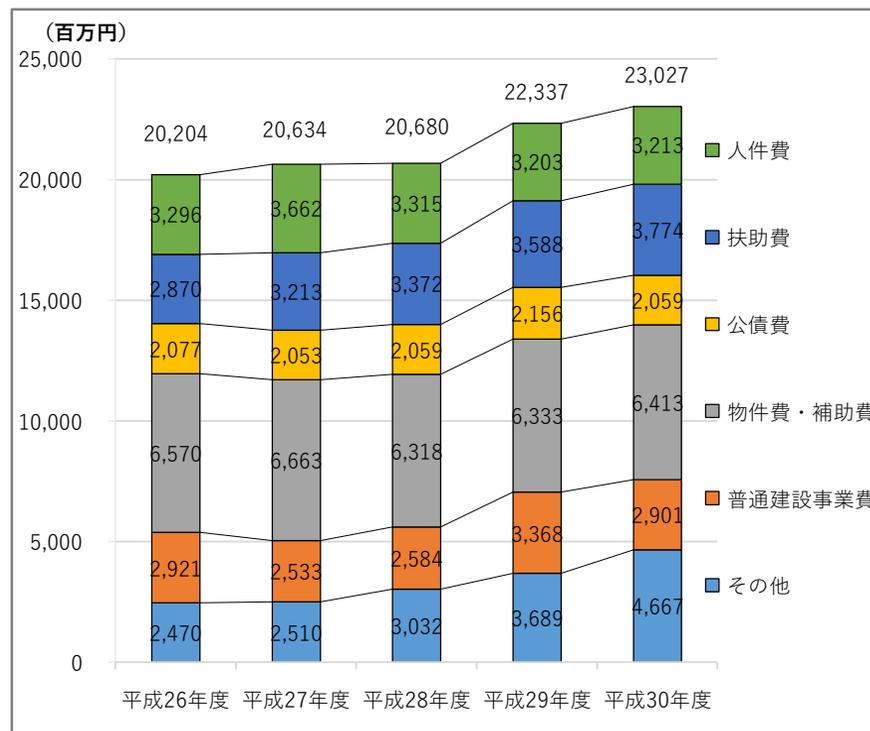
歳出においては、「常滑市行財政再生プラン2011」の理念を継承し、人件費の抑制及び投資事業の繰延等による普通建設事業費(投資的経費)の抑制に取り組んできた。近年は、子ども・子育て支援の新制度移行など国の施策による給付費の増加に伴い扶助費が増加している。また、その他の歳出として、将来の公共施設更新等に係る負担の平準化を図るため、基金への積立を行ったことにより、積立金が増加している(図表7)。

【図表6:歳入の推移】



資料:総務課

【図表7:歳出の推移】



資料:総務課

## 4 基本計画(前期)の点検・評価

基本計画では、5つの「施策の大綱」の下に14の基本分野を掲げ、取組を進めてきた。基本分野ごとに施策をどの程度実施できたかを明らかにするため、基本計画の各施策について平成28年度から30年度まで3年間の点検・評価を行った。

計画期間中に大きな成果を上げた主な施策は、子ども・子育て、教育分野では「子ども医療費の小学校6年生まで無料化」、「幼・保育園・こども園の改修、民間誘致」、「電子黒板、デジタル教材の拡充」などが挙げられる。福祉分野では「地域包括ケアシステムに向けた訪問看護ステーションの開設」、防災分野では「防災行政無線の整備」、「帰宅支援マップ、ハザードマップの更新」、「災害時業務継続計画の策定」、産業・観光分野では「内陸部や中部臨空都市への企業誘致」、「日本六古窯の日本遺産認定」、「農家レストランなど国家戦略特区を生かした6次産業化支援」などがある。行財政の運営では「常滑市公共施設アクションプランの策定」、「ポートレースとこなめにおける地方公営企業法の全部適用の実施」などが挙げられる。

### (1) 分野別の主な実績及び課題

基本分野ごとに取組状況を検証し、主な実績及び課題について以下のとおり取りまとめた(P.5～9)。

第1節 人を育み、誰もが生き生きと暮らすまちづくり		
基本分野	主な実績(H28～30)	主な課題
I-1 健康・医療	<p>&lt;健康づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「出張！健康測定」教室等を実施(H28～)</li> </ul> <p>&lt;医療体制づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「コミュニケーション日本一の病院」を目指し、健康教室・健康ひろめ隊・市民公開講座を開催(H28～)</li> <li>○地域包括ケアシステムの構築を目指し、「トコタンとことこ常滑ネット」を稼働(H29～)</li> </ul>	<p>&lt;健康づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●愛知県と比べて受診率が低いがん検診の受診率向上</li> </ul> <p>&lt;医療体制づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「常滑市病院事業改革プラン」に掲げた目標に向けた経営改善</li> </ul>
I-2 子ども・子育て	<p>&lt;結婚・出産・子育て支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日帰り婚活ツアーなど出会いの場づくりとして結婚支援イベントを開催(H28～)</li> <li>○「母子保健コーディネーター」を配置し、妊娠期からの支援として「マタニティ・おっぱい相談」、「産後ケア」、「母乳相談等助成事業」を開始(H28～)</li> <li>○医療費の通院全額助成を小学6年生までに拡大(H28～)</li> <li>○児童育成クラブの定員を80人増員(H28～29)</li> <li>○子育て支援センターを増設(H30)</li> </ul> <p>&lt;幼児教育・保育サービスの充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鬼崎南保育園を民営化し、幼保連携型認定こども園を新築誘致(H30)</li> <li>○地域型保育事業所を誘致(H28～)</li> </ul>	<p>&lt;結婚・出産・子育て支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健診や相談指導の場を活用した妊娠期から切れ目のない支援の継続実施</li> <li>●児童育成クラブの利用希望者増加に対応するための受け皿確保</li> </ul>

## 第1節 人を育み、誰もが生き生きと暮らすまちづくり

基本分野	主な実績(H28~30)	主な課題
I-3 福祉	<p>&lt;高齢者支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域包括支援センターを2法人に業務委託(H28~)</li> <li>○ 生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の日常生活を支援(H28~)</li> <li>○ 高齢者の社会参加及びボランティア活動促進を目的とした「スマイルポイント」事業を支援(H29~)</li> <li>○ 小規模多機能型居宅介護支援事業所を2か所整備(H28)</li> </ul> <p>&lt;障がい者支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者差別解消法を理解するため職員を対象に研修を実施(H28~)</li> </ul>	<p>&lt;高齢者支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民自らの互助の力による地域包括ケアシステムの推進</li> <li>● 高齢者在宅福祉サービスのニーズ及び実態に合わせた変更の検討</li> </ul>
I-4 教育・文化	<p>&lt;学校教育の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人英語講師(ALT)による小学校5・6年生の英語授業を実施</li> <li>○ 電子黒板を小学校5年生以上の教室に40台、中学校教室に20台整備</li> <li>○ 鈴溪義塾に関わる偉人を紹介する「鈴溪読本(簡易版)」を製作(H30)</li> </ul> <p>&lt;生涯学習・スポーツ振興&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際トライアスロン大会「アイアンマン70.3」を継続開催</li> </ul>	<p>&lt;学校教育の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校5・6年生の英語の教科化及び3・4年生の外国語活動への対応</li> <li>● 小学校での英語の教科化及びプログラミング教育の必修化に対応する電子黒板及びタブレット端末の拡充</li> </ul>

## 第2節 安心・安全で環境にやさしいまちづくり

基本分野	主な実績(H28~30)	主な課題
II-1 防災・地域安全	<p>&lt;災害対応の体制づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 帰宅支援マップ及びハザードマップを更新(H28~29)</li> <li>○ 「常滑市業務継続計画(BCP)【南海トラフ地震想定】」を策定(H28)</li> <li>○ 自主防災会の設立支援</li> <li>○ 同報系防災行政無線(無線発信局(親局)、屋外子局87局)を整備(H29~30)</li> </ul>	<p>&lt;災害対応の体制づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 避難所の開設・運営・設備についての要配慮者の受入れを考慮した見直し</li> </ul> <p>&lt;消防・救急体制づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 消防団員及び災害支援隊員への若年層の入団・入隊促進</li> </ul> <p>&lt;災害に強い社会基盤づくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 海岸保全施設の維持・保全に係る長寿命化計画の策定</li> </ul>
II-2 環境保全・衛生	<p>&lt;ごみ減量化の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「常滑市ごみ処理基本計画」を策定(H28)</li> <li>○ 1人1日当たりの家庭ごみ排出量が目標値の500グラムを達成(H30)</li> <li>○ 資源回収ステーションでの刈草・剪定枝の受入れを開始(H30)</li> <li>○ 広域ごみ焼却施設の整備を推進(計画策定・用地取得・環境影響評価・都市計画決定・建設工事着工)</li> </ul>	

### 第3節 快適で住みやすいまちづくり

基本分野	主な実績(H28~30)	主な課題
Ⅲ-1 都市環境	<p>＜公園緑地・水辺空間の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大曾公園の旧屋外プール跡地活用や交通安全センター跡地の一体的利用、老朽施設の修繕等を検討</li> <li>○ りんくう展望広場駐車場の有料化を実施(H30)</li> </ul>	<p>＜景観形成の推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● やきもの散歩道地区内の老朽空家対策及び住宅等の耐震化と景観保全との両立</li> </ul>
Ⅲ-2 都市基盤	<p>＜市街地等の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 常滑駅周辺土地区画整理事業の移転補償及び工事施工を実施</li> <li>○ 低未利用地及び公益的施設用地の固定資産台帳を整備(H28)</li> <li>○ 旧常滑市民病院の跡地活用を検討(H28~)</li> <li>○ 「常滑市都市計画マスタープラン」の改定に着手(H30)</li> </ul> <p>＜道路交通網の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国道247号整備に伴う市道付替え工事のための用地取得(公共補償)を実施</li> <li>○ 市道石瀬線の道路改良工事が完了(H30)</li> </ul> <p>＜公共交通の確保・充実＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北部バスの運行(運転手)を委託</li> <li>○ 市南部地区の公共交通維持のため知多バス常滑南部線へ補助を実施</li> </ul> <p>＜安定した給水と適正な下水処理＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上水道施設の整備・更新工事を実施</li> <li>○ 常滑浄化センターの流入ポンプ棟及び水処理施設の建設に着手(H28~)</li> </ul>	<p>＜市街地等の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 常滑駅周辺土地区画整理事業の移転補償及び工事施工の遅れ</li> </ul> <p>＜道路交通網の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国費配分が低いことによる市道多屋線の事業進捗の遅れ</li> <li>● 市民から後退用地の寄附が必要な狭あい道路の整備</li> </ul> <p>＜公共交通の確保・充実＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市庁舎移転を踏まえた新たな地域公共交通の在り方の調査・検討</li> <li>● 鉄道事業者へのダイヤ・運行本数の充実についての要望実施</li> </ul> <p>＜安定した給水と適正な下水処理＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共下水道全体計画区域における残整備区域の整備完了</li> </ul>

### 第4節 活力とにぎわいのあるまちづくり

基本分野	主な実績(H28~30)	主な課題
Ⅳ-1 産業振興	<p>＜農業・漁業の振興＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 畜産クラスター協議会による高収益型を目指す整備を支援</li> <li>○ 漁業協同組合が実施する共同利用施設整備を支援</li> <li>○ 国家戦略特区による農家レストラン設置を支援し、農家レストランが2店舗開業(H30)</li> </ul> <p>＜商業・工業の振興＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ とこなめ陶の森資料館の展示リニューアルの基本構想及び基本計画・基本設計を策定(H29~30)</li> <li>○ 常滑焼の海外販路開拓を支援(海外出展支援・海外バイヤー招聘等)</li> <li>○ 常滑焼が日本六古窯として「日本遺産」に認定(H29)</li> <li>○ 焼き物を縁に中国宜興市と友好都市提携に向けた調整を実施</li> </ul>	<p>＜農業・漁業の振興＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鬼崎・小鈴谷漁港の機能保全</li> </ul> <p>＜商業・工業の振興＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● とこなめ陶の森の研修制度の見直し</li> <li>● 年々減少や縮小傾向にある商店街の在り方検討</li> </ul>

## 第4節 活力とにぎわいのあるまちづくり

基本分野	主な実績(H28～30)	主な課題
IV-1 産業振興	<p>&lt;観光振興&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光協会を法人化し、(一社)とこなめ観光協会と4支部の情報の一本化及び連携強化を実施</li> <li>○ 観光プラザ、陶磁器会館、とこなめ陶の森研究所、廻船問屋瀧田家、展示工房館に無料公衆無線LAN(Wi-Fi)を設置</li> <li>○ 「竜の子街道広域観光推進協議会」を設立し、誘客事業を実施</li> </ul> <p>&lt;雇用・勤労者の支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ りんくう町立地企業に対し、雇用促進奨励金を交付</li> </ul>	<p>&lt;観光振興&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● やきもの散歩道内の空き家における活用したい(借りたい)人のニーズと所有者の売りたいニーズとのマッチングの齟齬</li> </ul>
IV-2 空港・中部臨空都市	<p>&lt;空港との連携と空港・アクセスの機能充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空港・イオンモール常滑・市民文化会館等を会場に「常滑お笑いEXPO」を開催(H29～)</li> <li>○ 知多市町会として県及び県議会に対して中部国際空港連絡道路の通行料引下げ、名浜道路早期整備などの要望活動を実施</li> <li>○ 愛知県と連携し、自動運転実証実験を実施(H29～30)</li> <li>○ 国に対し、愛知県とともに西知多道路及び名浜道路の早期完成に向けた要望を実施</li> </ul> <p>&lt;中部臨空都市のまちづくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中部臨空都市への企業誘致を推進</li> </ul>	<p>&lt;中部臨空都市のまちづくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空港対岸部の未分譲地への企業立地</li> </ul>
IV-3 シティプロモーション	<p>&lt;シティプロモーションの着手&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国の交付金を活用し、土管坂休憩所の活用を開始</li> <li>○ 市職員出演PR動画及びパンフレットの製作・発信などLOVE TOKO事業を実施</li> <li>○ 日本六古窯のひとつとして、タブロイド誌・動画・ホームページの製作及び産地巡回展の開催を通してPRを実施(H29～)</li> </ul>	<p>&lt;シティプロモーションの着手&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 需要を的確に捉えた効果的なプロモーション</li> </ul>

## 第5節 ともに創るまちづくり

基本分野	主な実績(H28～30)	主な課題
V-1 参画・協働	<p>&lt;協働によるまちづくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地域の活動費用の支援及びまちづくりに対する支援</li> </ul> <p>&lt;国際交流・多文化共生の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ポルトガル語による外国人居住者向け生活相談を実施するとともに、外国人向けホームページを開設</li> <li>○ 「常滑市内児童生徒国際交流推進協議会(TSIE)」を支援し、市内小学生児童の海外派遣及び海外児童の受入を継続実施</li> </ul>	<p>&lt;協働によるまちづくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治組織への加入率の減小</li> </ul>

## 第5節 ともに創るまちづくり

基本分野	主な実績(H28~30)	主な課題
V-2 行財政運営	<p><b>&lt;市民に信頼される行政運営&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人事評価制度を導入(H28)</li> </ul> <p><b>&lt;効果的な情報提供&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ブラジル人向けフェイスブックページを開設(H30)</li> <li>○ 市ホームページをリニューアル(H28)</li> </ul> <p><b>&lt;安定した財政運営&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別職期末手当及び管理職手当の削減により人件費を抑制</li> </ul> <p><b>&lt;公共施設マネジメントの推進&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「常滑市公共施設等総合管理計画」を策定(H28)</li> <li>○ 「常滑市公共施設アクションプラン」を策定(H29)</li> <li>○ 市庁舎を高台移転することとし、新庁舎建設に着手(H29~)</li> <li>○ 図書館の本館機能の分散移転について具体的な検討を開始</li> <li>○ 丸山保育園の改修を実施(H30)</li> <li>○ 常滑東小学校南校舎を整備(H29)し、供用を開始(H30)</li> <li>○ ポートレースとこなめを地方公営企業法の全部適用へ移行(H28)</li> <li>○ 場外発売場として「ポートレースチケットショップ高浜」を開設(H30)</li> </ul>	<p><b>&lt;公共施設マネジメントの推進&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化施設複合化の実施時期及び在り方の検討</li> <li>● 常滑幼稚園の在り方検討</li> <li>● 小中学校の計画的な大規模改造工事及び設備更新工事</li> <li>● 学校給食共同調理場の建替検討</li> </ul>
V-3 広域行政	<p><b>&lt;広域的な協力体制の整備&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旅券事務の広域化として3市3町でパスポートセンターを開設(H31.4)</li> </ul>	

【参考】

令和元年度の主な実績及び令和2年度の主な取組は以下のとおりである。

令和元年度	
基本分野	主な実績
I-1 健康・医療	<b>&lt;医療体制づくり&gt;</b> ○ 「半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議」を開催 ○ 「婦人科不妊治療センター基本構想」を策定
I-2 子ども・子育て	<b>&lt;幼児教育・保育サービスの充実&gt;</b> ○ 幼児教育・保育の無償化を実施
II-1 防災・地域安全	<b>&lt;災害対応の体制づくり&gt;</b> ○ 防災ガイドブックを更新 ○ ICT-BCP整備マニュアル作成と訓練を実施 ○ 個別受信機(防災ラジオ)を有償配布 <b>&lt;災害に強い社会基盤づくり&gt;</b> ○ 危険空家住宅の除却費補助金交付制度を開始
III-1 都市環境	<b>&lt;公園緑地・水辺空間の整備&gt;</b> ○ 小脇公園の遊歩道整備
III-2 都市基盤	<b>&lt;市街地等の整備&gt;</b> ○ 旧常滑市民病院跡地活用事業者を公募 ○ 旧常滑市民病院解体工事
IV-1 産業振興	<b>&lt;農業・漁業の振興&gt;</b> ○ 農泊推進に係る協議会を設立及び事業実施 <b>&lt;産業・工業の振興&gt;</b> ○ 友好都市提携(中国宜興市)を締結
IV-2 空港・中部臨空都市	<b>&lt;空港との連携と空港・アクセスの機能充実&gt;</b> ○ 愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)が開業 ○ 中部国際空港第2ターミナルが開業
IV-3 シティプロモーション	<b>&lt;シティプロモーションの着手&gt;</b> ○ 冊子「とこなめ いいとこ どんなとこ？」を作成
V-2 行財政運営	<b>&lt;公共施設マネジメントの推進&gt;</b> ○ 鬼崎北保育園の大規模改修を実施 ○ 小中学校(全校)の普通教室にエアコンを設置 ○ 温水プールでの小学校プール授業を開始(プール集約化) ○ 「学校給食共同調理場整備基本構想」を策定 ○ 旧大野南連絡所を解体

令和2年度	
基本分野	主な取組
I-1 健康・医療	<b>&lt;健康づくり&gt;</b> ○ ロタウイルス予防接種の開始 ○ おたふくかぜ予防接種の助成開始
I-2 子ども・子育て	<b>&lt;結婚・出産・子育て支援&gt;</b> ○ 中学3年生までの医療費全額助成開始
I-3 福祉	<b>&lt;障がい者の支援&gt;</b> ○ 障がい者基幹相談支援事業の実施
I-4 教育・文化	<b>&lt;学校教育の充実&gt;</b> ○ 「GIGAスクール構想」に基づく、情報通信ネットワーク・端末の整備開始 ○ 小学3・4年生教室への電子黒板の導入
II-2 環境保全・衛生	<b>&lt;ごみ減量化の推進&gt;</b> ○ 地区分別回収資源物当番の委託化 <b>&lt;環境衛生の推進&gt;</b> ○ 火葬場の更新整備
III-1 都市環境	<b>&lt;公園緑地・水辺空間の整備&gt;</b> ○ 大曾公園グラウンドの整備
III-2 都市基盤	<b>&lt;公共交通の確保・充実&gt;</b> ○ 路線バス(知多バス)運賃助成制度の試行
V-1 参画・協働	<b>&lt;国際交流・多文化共生の推進&gt;</b> ○ 外国人住民向け日本語教室の開設
V-2 行財政運営	<b>&lt;市民に信頼される行政運営&gt;</b> ○ 愛知県及び県内市町村とのAI・ロボティクスの共同利用 <b>&lt;公共施設マネジメントの推進&gt;</b> ○ 新庁舎建設工事、こども図書室整備 ○ 鬼崎北小学校の大規模改造工事 ○ 公立保育園(4園)のトイレ改修 ○ 図書館分散移転のための設計・工事 <b>&lt;ポर्टレースとこなめの適切な運営&gt;</b> ○ 新設スタンド建設工事、ポर्टレースパーク整備

## (2) 点検・評価の取りまとめ

分野別計画の151施策について、前期基本計画の計画期間(平成28～令和2年度)5年間のうち、平成30年度までの3年間で終了した時点での点検・評価を実施した。

点検・評価に当たっては、「結果を数値化した方が分かりやすいこと」、「施策の中にはソフト事業、ハード事業など様々な内容・性格のものがあること」、「評価の判断が難しいものや達成状況を把握しづらいものがあること」から、便宜上、図表8のとおり「評価区分」を設定し、施策の取組状況や進捗状況から当てはまると考えられるa～dの4段階の区分を選定した。

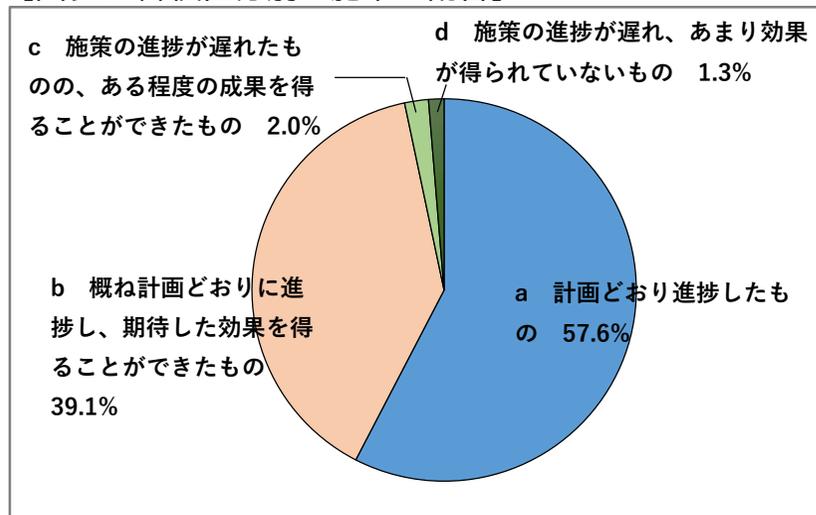
施策ごとの点検・評価の全体集計結果は以下のとおりである(図表8、図表9)。なお、基本分野ごとに位置付けられている施策の総合評価を次ページにまとめた(図表10)。

(個別施策の評価は【P.19～43】を参照)

【図表8: 施策の評価区分及び施策数・割合】

区分	評価内容	施策数	割合
a	計画どおり進捗したもの (達成状況：75%以上のもの)	87	57.6%
b	概ね計画どおりに進捗し、期待した効果を得ることができたもの (達成状況：50%以上75%未満のもの)	59	39.1%
c	施策の進捗が遅れたものの、ある程度の成果を得ることができたもの (達成状況：25%以上50%未満のもの)	3	2.0%
d	施策の進捗が遅れ、あまり効果が得られていないもの (達成状況：25%未満のもの)	2	1.3%
合 計		151	100%

【図表9: 評価区分別の施策の割合】



### ■評価がc及びdの施策

評価	施策	課題	実行計画コード
c	海岸保全施設の維持・保全	状況調査に基づく長寿命化計画の策定が必要	2131
	常滑駅周辺土地区画整理事業	移転補償及び工事施工の遅れ	3211
	市道の整備	国費配分が低いことによる市道多屋線の事業進捗の遅れ	3222
d	鉄道ダイヤ・運行本数の充実	鉄道事業者へのダイヤ・運行本数の充実についての要望実施	3232
	やきもの散歩道における空き工場・空き家の利活用	借りたいニーズと売りたいニーズとのマッチングの齟齬	4135

【図表10:分野別計画の総合評価一覧】

基本構想 施策の大綱	基本計画(前期) 基本分野	実施施策 (数)		総合評価							
				a		b		c		d	
第1節 人を育み、誰もが生き生きと暮らすまちづくり	I-1 健康・医療	35	5	23	2	12	3	0	0	0	0
	I-2 子ども・子育て		9		7		2		0		0
	I-3 福祉		13		7		6		0		0
	I-4 教育・文化		8		7		1		0		0
第2節 安心・安全で環境にやさしいまちづくり	II-1 防災・地域安全	33	23	23	16	9	6	1	1	0	0
	II-2 環境保全・衛生		10		7		3		0		0
第3節 快適で住みやすいまちづくり	III-1 都市環境	24	7	11	3	10	4	2	0	1	0
	III-2 都市基盤		17		8		6		2		1
第4節 活力とにぎわいのあるまちづくり	IV-1 産業振興	26	21	12	10	13	10	0	0	1	1
	IV-2 空港・中部臨空都市		4		2		2		0		0
	IV-3 シティプロモーション		1		0		1		0		0
第5節 ともに創るまちづくり	V-1 参画・協働	33	7	18	2	15	5	0	0	0	0
	V-2 行財政運営		25		15		10		0		0
	V-3 広域行政		1		1		0		0		0
合 計		151	87	59	3	2					

### (3) 行財政改革の取組及び実績

長期債務残高の削減と財政健全化指標の改善を目標に、6つの視点で33項目に取り組んでおり、その結果、目標である長期債務残高および財政健全化指標は改善傾向にある(図表11)。

しかしながら、今後は当初想定されていなかった市庁舎整備や学校・保育所等その他公共施設の大規模改修、浄化センター増設、旧市民病院の取壊しに係る市債の増が見込まれているため、最終的な目標達成(令和2年度)は厳しい見通しとなっている。

(個別の取組状況は【P.44～49】を参照)

【図表11:改革の目標と実績】

#### ■長期債務残高

(単位:億円)

指 標	H29	H30	目標 (R2)
市 債	478.7	463.5	500億円 程度
一般会計	220.4	216.9	
特別会計	173.1	168.6	
企業会計	85.2	78.0	
債務負担行為	81.3	75.7	
合 計	560.0	539.2	

#### ■財政健全化指標

(単位:%)

指 標	H29	H30	目標 (R2)
実質赤字比率	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—
実質公債費比率	13.2	12.4	13% 未満
将来負担比率	121.9	121.7	150% 未満

※「—」は赤字額がないことを示す

主な取組実績
<b>①投資的事業の抑制</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>前期基本計画において既に財政的に無理のない範囲に抑制済み</li> </ul>
<b>②施設のマネジメント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「常滑市公共施設アクションプラン」の策定(H29)</li> <li>一般会計における延床面積削減率▲1.6%(H30)</li> <li>公営住宅6棟削減(H29・30)</li> </ul>
<b>③民間活力の活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道課窓口業務の委託化(H30)</li> <li>鬼崎南保育園の民営化(H30)</li> </ul>
<b>④事務事業・行事等・補助事業の見直し</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンセンター常武の手数料有料化：手数料収入6,972千円(H30)</li> <li>3市3町による旅券発行事務の広域化（H31年4月1日開設）</li> <li>土地開発公社の解散（H30年10月26日）</li> </ul>
<b>⑤職員人件費の抑制</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設マネジメント課の設置(H29)</li> <li>職員定数の適正化：H28年4月1日478人 → H30年4月1日488人</li> <li>「第4次常滑市人材育成基本指針」の策定(H29)</li> <li>管理職手当(～H29)・特別職の期末手当(～H30)の一部削減</li> </ul>
<b>⑥収入増加策の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>債権の適正管理           <ul style="list-style-type: none"> <li>市税・国保税未済額：523,409千円(H27) → 251,376千円(H30)</li> <li>税外債権(22債権)未済額：153,310千円(H27) → 120,133千円(H30)</li> </ul> </li> <li>ふるさと納税寄附額：271件16,366千円(H27) → 784件42,476千円(H30)</li> <li>公共下水道水洗化率：61.0%(H27) → 65.4%(H30)</li> <li>農業集落排水水洗化率：84.9%(H27) → 87.1%(H30)</li> <li>市有地未利用財産の新規売却・貸付955,043千円(H29・30)</li> </ul>

## 5 市民アンケート調査結果の概要

第5次常滑市総合計画に定められた施策を46項目に分類し、まちづくりに関する市民アンケートを実施した。各施策の満足度や今後重要だと思う取組、常滑市の住みやすさについては以下のとおりである。

### (1) アンケート調査結果（配布数2,000人、有効回答者数1,097人、有効回答率54.9%）

#### ■満足度の評価得点が高い上位5項目

- 1位 水道水の安定供給
- 2位 消防・救急体制づくり
- 3位 ごみの減量化、リサイクル活動の推進
- 4位 公共下水道の整備
- 5位 予防医療・健康づくり(予防接種・各種健康診断・講座等)

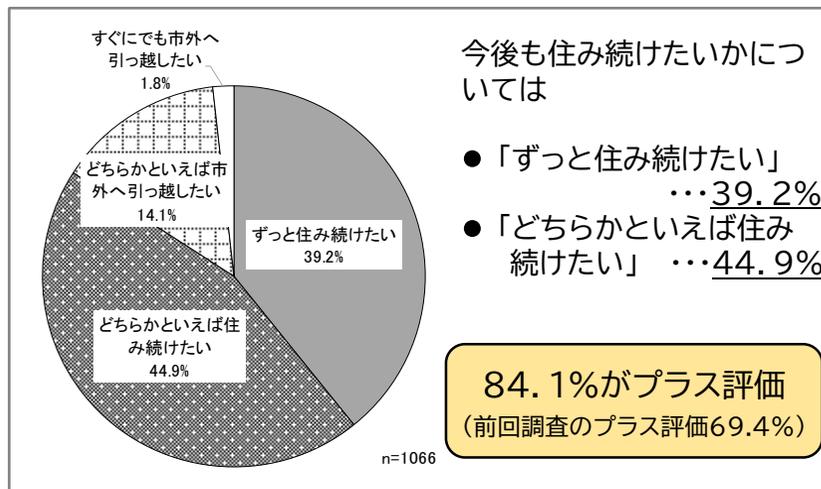
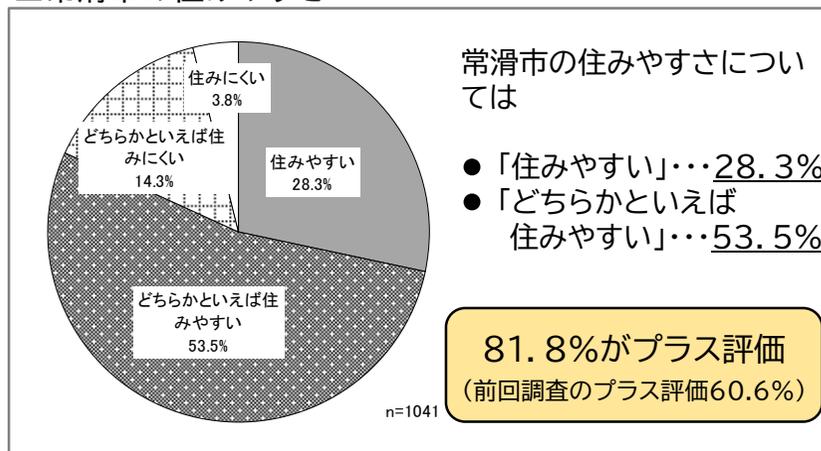
#### ■満足度の評価得点が低い上位5項目

- 1位 利用しやすい公共交通の確保
- 2位 公共施設の再配置(老朽化対策・統廃合)
- 3位 健全な行財政運営の推進
- 4位 雇用機会の創出、勤労者の支援
- 5位 企業誘致の推進

#### ■今後重要だと思う取組上位5項目

- 1位 医療体制づくり(市民病院、地域医療・救急医療)
- 2位 災害発生時の危機管理・防災体制の強化
- 3位 犯罪のないまちづくりと交通安全の推進
- 4位 水道水の安定供給
- 5位 消防・救急体制づくり

#### ■常滑市の住みやすさ



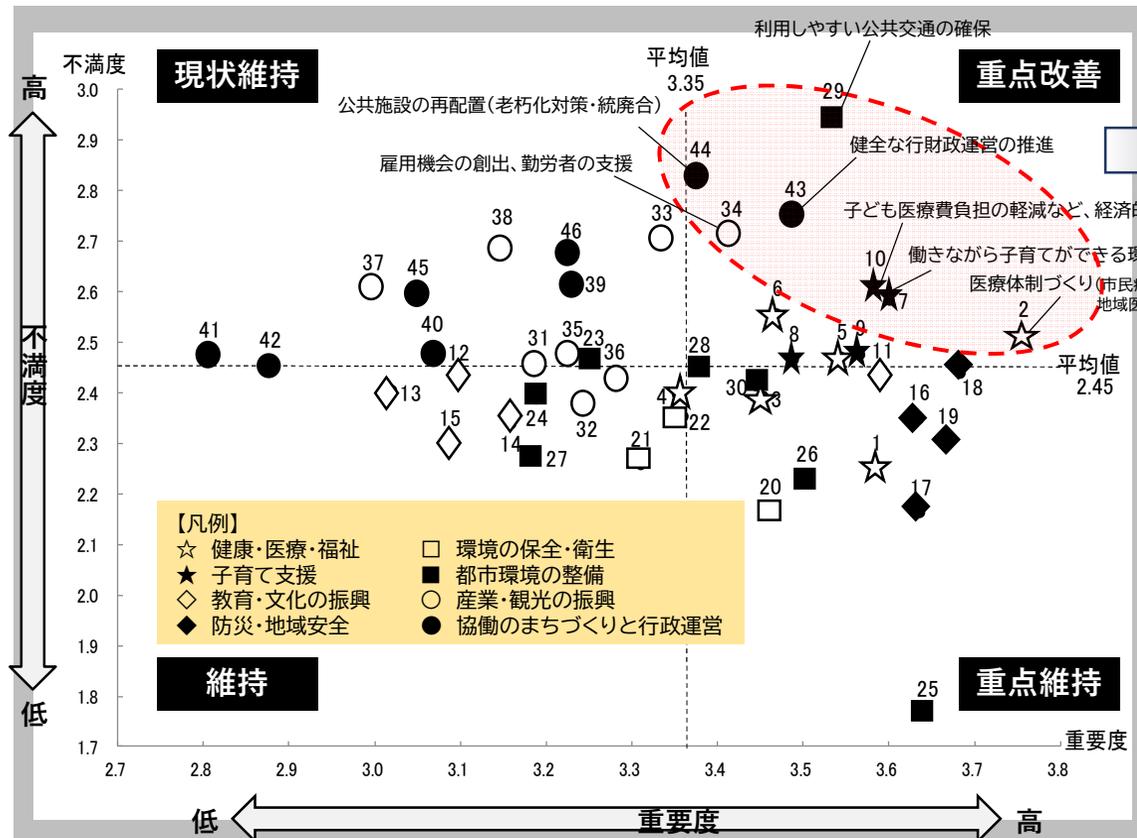
## (2) アンケート結果の分析

総合計画全体の施策展開を通して、市民の実感につながったものを成果と捉えると、「水道水の安定供給」、「消防・救急体制づくり」、「ごみの減量化、リサイクル活動の推進」などの施策が高く評価された一方で、「利用しやすい公共交通の確保」、「公共施設の再配置(老朽化対策・統廃合)」、「健全な行財政運営の推進」などの施策の評価が低い結果となった。

また、「医療体制づくり(市民病院、地域医療、救急医療)」、「災害発生時の危機管理・防災体制の強化」、「犯罪のないまちづくりと交通安全の推進」などの施策が市民が今後重要だと思う取組であるという結果となった。

さらに、不満度と重要度から分析した結果、市民から特に求められている施策については以下のとおりとなった(図表12)。

【図表12:不満度と重要度の散布図(全体集計)】



### <市民から特に求められている施策>

- 1位 利用しやすい公共交通の確保
- 2位 健全な行財政運営の推進
- 3位 公共施設の再配置(老朽化対策・統廃合)
- 4位 医療体制づくり(市民病院、地域医療、救急医療)
- 5位 子ども医療費負担の軽減など、経済的支援
- 6位 働きながら子育てができる環境づくり
- 7位 雇用機会の創出、勤労者の支援

### <年代別の特徴>

- 18・19歳、20歳代～50歳代では、
- ★子育て支援の分野
  - ◆防災・地域安全の分野 の重要性が高い
- 50歳代、60歳代、70歳以上では、
- 利用しやすい公共交通の確保 の重要性が高い

## 6 点検・評価の総括

### ■総合計画の取組実績と各指標から

基本計画(前期)において基本分野ごとの実績・課題及び151の分野別施策の点検・評価を踏まえると、位置付けた施策や取組について、概ね計画どおりの施策展開が行われたものといえる。また、基本構想で掲げた将来人口(目標)についても、全国的な人口減少の流れの中において、平成28年度から4年間で人口が約1,000人増加するなど、目標に向けて順調に推移しており、第5次常滑市総合計画は計画期間の途中であるものの、一定の成果を示すことができたといえる。

一方で、進捗の遅れによりあまり効果が得られていない施策や、施策を展開するなかで対応すべき課題が生じている施策があり、今後、課題解決を図っていく必要がある。

行財政改革は、長期債務残高の削減と財政健全化指標の改善を目標に、6つの視点で33の項目に取り組んでおり、その結果、目標である長期債務残高および財政健全化指標は改善傾向にあるものの、今後は当初想定されていなかった事業が見込まれているため、最終的な目標達成は厳しい状況である。

### ■市民アンケート調査結果から

市民アンケートでは、「常滑市の住みやすさ」についてプラス評価が8割以上となり、第5次常滑市総合計画に沿って進めてきたまちづくりについて、一定の市民評価を得ることができたといえる。

一方で、各施策の取組については、公共交通の確保、公共施設の老朽化対策、健全な行財政運営などの満足度が低く、それらの取組に加え、医療体制づくり、経済的な子育て支援、子育てができる環境づくりなどの取組が市民から特に求められている。



### ■第6次常滑市総合計画の策定に向けて

人口については、空港関連従業員等の社会増の収束、高齢化の進行に伴う自然減、親となる世代の減小に伴う出生数減などにより、今後は減少の局面を迎えると予測されることから、空港関連従業員や若い世代の定住化を目指し、未来を担う子ども・若者の育成、希望する誰もが結婚し安心して子どもを産み育てることができる環境づくりが必要である。

こうしたことから、第5次常滑市総合計画においてまちづくりを進めてきた結果、見えてきた課題を認識するとともに、特に、これからの常滑市を担う皆さんの市民参画を得ながら、第6次常滑市総合計画の策定に取り組んでいく。

また、市を取り巻く環境の変化に対応し、効率的で効果的な行財政運営を図るため、引き続き行財政改革についても取り組んでいく。

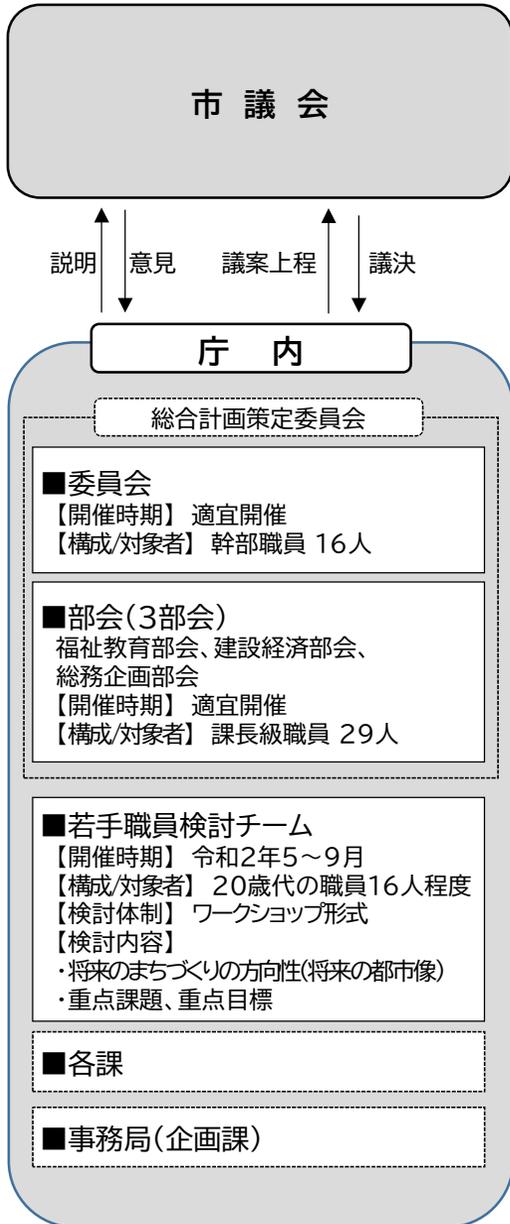
そして、全ての市民の皆さんに「ずっと常滑。」と思ってもらえるまちの実現を目指して、市民の皆さんの「安全」、「安心」とまちの「成長」を柱としたまちづくりを進めていくこととする。

# 7 今後のスケジュール

区 分		令和元年度					令和2年度												令和3年度	
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
策定作業	第5次総合計画の評価 課題整理			第5次総合計画の評価 及び課題整理																
	人口・財政 見通し		人口・財政の見通しに係る検討																	
	基本構想 (議決案件)			・各種フレームの検討 ・将来の都市像の検討 ・計画体系、基本分野の検討			基本構想(素案) 検討			基本構想 (素案) 検討	基本構想(案) 検討	基本構想 (案) 検討								
	基本計画 実行計画			・施策の方向、方針の検討 ・現状と課題の整理 ・具体的事業の検討			基本計画(素案) 検討			基本計画 (素案) 検討	基本計画(案) 検討	基本計画(案) 実行計画(案) 検討	基本計画(案) 実行計画(案) 検討	基本計画 (案) 検討	実行計画 (案) 検討					
市議会	本会議																			
	協議会		◎計画の策定について	◎計画策定に係る 基本方針について			◎第5次総計の評価報告 ・市民アンケート調査結果			◎基本構想(素案)	◎基本計画(素案)									
庁内	策定委員会		◎設置(適宜開催)																	
	策定部会		◎設置(適宜開催)																	
	若手職員検討チーム						◎設置(適宜開催)													
市民参画	市民アンケート調査			○実施		○とりまとめ														
	各種団体等ヒアリング					各種団体等との意見交換の実施														
	まちづくり会議								◎設置(適宜開催)											
	市民意見募集 (パブリックコメント等)			広報・HP等による市民意見募集 ※計画の検討状況等について随時公表し、意見を募集								◎パブコメ 基本構想(素案)								
	まち・ひと・しごと創生 総合戦略推進会議								◎設置(適宜開催)											



## <策定体制>



## 市民参画

### ■市民アンケート調査

- 【実施時期】 令和2年1～2月
- 【対象者】 18歳以上の市民2,000人
- 【回収方法】 郵送/WEB回答
- 【回収率】 54.9%(有効回答1,097)
- 【質問事項】
  - ・住みやすさ
  - ・まちづくり(満足度/重要度)
  - ・誇れるもの/足りないもの
  - ・将来のなりたいまちのイメージ

### ■各種団体ヒアリング(28団体)

- 【開催時期】 令和2年5～6月
- 【開催場所】 各団体と調整
- 【実施内容】 各団体に関わる分野についてヒアリングを実施
- 【質問事項】
  - ・事業分野における社会的変化の状況
  - ・活動に係る問題点や課題
  - ・今後の取り組み活動に係る問題点や課題

## まちづくり会議

### ■市民会議

- 【開催時期】 令和2年7～8月(全3回程度)
- 【開催場所】 市役所会議室など
- 【構成/対象者】
  - ・市民公募委員20人程度(無作為抽出した18歳以上の市民600人に対し郵送文書により参加を呼びかけ)
  - ・市職員6人程度(策定委員会部会正副部会長)
- 【検討体制】 ワークショップ形式(SDGs含む)
- 【検討内容】 将来のまちづくりの方向性(将来の都市像)

### ■中学生会議

- 【開催時期】 令和2年7～8月(全1回)
- 【開催場所】 市役所会議室など
- 【構成/対象者】 市内4中学校の生徒16人(1中学校につき4人)
- 【検討体制】 ワークショップ形式(SDGs含む)
- 【検討内容】
  - ・ずっと住みたいまちについて(将来の都市像)
  - ・そのために自分たちができること

### ■若者座談会

- 【開催時期】 令和2年6～7月(各1回)
- 【開催場所】 子育て支援センター、中部国際空港、常滑高校など
- 【構成/対象者】 20～30歳代の子育て世代/空港関連従業員/常滑高校生徒
- 【実施内容】 子育て支援センターなどの対象者が集まる場所に出向き、インタビュー形式でまちづくりに関する意見を聞き取り
- 【質問事項】
  - ・ずっと住みたいまちについて(将来の都市像)
  - ・外から見た常滑市に足りないもの

### ■市民意見募集

- 【実施時期】 随時(令和2年1～6月)
- 【対象者】
  - ・市内在住、在勤、在学の人
  - ・市内に事業所/事務所がある法人、団体
- 【実施内容】
  - 計画策定状況について情報提供及び意見募集を実施
  - ・広報、ホームページへの掲載
  - ・SNSの活用(若者世代向け)
  - ・パブリックコメント

### ■まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

- 【開催時期】 令和2年6～11月
- 【開催場所】 市役所会議室
- 【構成/対象者】 産学金労言等の各種団体推薦による委員15人
- 【検討内容】
  - ・人口ビジョン、総合戦略の検討
  - ・総合計画への一体化方法の検討

**【資料編：施策別の評価及び取組状況(151項目)】**

(平成28～30年度)

【凡例】

○ 取組状況及び実績

▲ 課題等

## 第1節 人を育み、誰もが生き生きと暮らすまちづくり

I-1 健康・医療				
項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(1)健康づくり	1111	「第2期健康日本21とこなめ計画」に沿って、生活習慣の見直しやがん検診等の健診体制の充実を図ります。	○市民に健康への関心を持ってもらうため、「出張！健康測定」教室等を実施した。 ○がん検診を特定健診と同日実施できるよう利便性を高めた。 ○大腸がん検診及び国民健康保健加入者の肺がん健診の自己負担額を減らした。 ○30代の女性に乳がん検診(超音波)を実施した。 ----- ▲乳がん検診の受診率は年々上昇しているものの、胃がん、肺がん、大腸がん検診の受診率は愛知県に比べて低い。	健康推進課
	評価:b			
	1112-1	医療・福祉の連携などによる健康を支える地域づくりを図り、生涯を通じた健康づくりを推進します。	○予防接種の広域化を乳幼児から高齢者に拡大した。 ○主に県外接種者を対象に費用償還払制度を開始した。 ○妊婦歯科健診を個別実施に変更したことにより、受診者数が増加した。	健康推進課
	評価:a			
(1)健康づくり	1112-2	医療・福祉の連携などによる健康を支える地域づくりを図り、生涯を通じた健康づくりを推進します。	○介護予防訪問介護、介護予防通所介護を総合事業へ移管し、さらに条件を緩和するなど、利用者の現状に合った多様なサービスを提供した。 ○一般介護予防事業は、国の施策に従いH28年度から二次予防事業を廃止し、地域で一般介護予防運動教室の立上げ支援を実施するとともに、ボランティア養成を実施し、地域高齢者の通いの場の立上げ支援に努めた。(H28:14会場→H30:36会場) ----- ▲一般介護予防運動教室への男性参加率は全体の約6%にとどまり、女性の参加者に比べ低い水準にあるため、引き続き支援する必要がある。	高齢介護課
	評価:b			
(2)医療体制づくり	1121	市民病院について、「コミュニケーション日本一の病院」を目指して体制整備や職員研修に努めます。	○訪問看護ステーションと患者サポートセンターの充実により、病院が地域包括ケアシステムの中心的役割を果たすことができるよう推進した。 ○各健康教室、健康ひろめ隊(健康チェック・キッズフォト等)、市民公開講座を開催した。 ○中学生等の職場体験やボランティア活動など各種イベントを行った。 ○DPC(包括評価方式)を導入し、医療の平準化と効率化を図り、診療単価の向上に努めるとともに、婦人科において先進的な内視鏡システムの充実により、低侵襲の手術を積極的に行うなど収益向上に努めた。 ----- ▲「常滑市病院事業改革プラン」に掲げた目標に向けて経営改善をする必要がある。	病院事務局
	評価:a			
	1122	関係医療機関と連携し、地域医療及び救急医療体制の確保に努めます。	○第1次救急医療(在宅当番医制)、第2次救急医療病院群輪番制病院について関係医療機関と連携し確保した。 ○H29年4月に「トコタンとこと常滑ネット」を稼動した。登録患者数、利用施設、利用登録者数も順調に増えている。(H29:登録患者数38人、利用施設82か所、利用登録者数182人→H30:登録患者数137人、利用施設101か所、利用登録者数213人) ○医療と介護の連携として、リレーションシップ協議会、市民公開講座、多職種研修会を開催した。 ----- ▲産科クリニック、助産院等の正常分娩実施機関の誘致に係る検討は進んでいない。	健康推進課 高齢介護課 病院事務局 企画課
評価:b				

## I-2 子ども・子育て

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28～30)	担当課
(1)結婚・出産・子育て支援	1211	結婚を望む男女のために、結婚に向けた出会いの場づくりに努めます。	○出会いの場づくりとして結婚支援イベントを継続実施した。 ○H30年度は中部国際空港利用促進協議会の補助金を活用し、空港の利用促進を兼ねた日帰り北海道婚活ツアーを実施した。	企画課
	評価:b			
	1212	乳幼児期の健康、親の育児などを支援する環境を整え、母子保健の充実を図ります。	○H28年度から「母子保健コーディネーター」を配置してコーディネート会議を実施し、妊娠期から支援方法について検討した。「マタニティ・おっぱい相談」、「母乳相談等助成事業」を開始した。 ▲母子健康手帳の交付数は減少しているものの、支援が必要なケースが多いため、今後も健診や相談指導の場を活用して妊娠期から切れ目のない支援を継続する必要がある。	健康推進課
	評価:a			
	1213	子どもの健康推進、子育て家庭の経済的負担軽減を図るため、医療費の助成を拡充します。	○H28年10月から医療費の通院全額助成を小学6年生までに拡大した。 ○中学生には市内専用受給者証を発行し、利便性向上を図った。	保険年金課
1214	放課後に子どもを預ける場所や相談体制などを充実し、子育て家庭を支援します。	○児童育成クラブの定員を80人増員した。(定員数 H27:600人→H29:680人) ○子育て支援センターを増設した。(実施個所 H28:5か所→H30:6か所) ▲児童育成クラブの利用希望者が増加しつつあるため、さらに受け皿を確保していく必要がある。	子ども課	
評価:a				
(2)幼児教育・保育サービスの充実	1221	民間の幼保連携型認定子ども園及び地域型保育事業所を誘致し、幼児教育・保育の充実を図ります。	○保育園及び子ども園で長時間保育を実施した。(実施個所 H27:9園→H30:10園) ○H30年度に鬼崎南保育園を民営化し、幼保連携型認定子ども園を新築誘致した。 ○地域型保育事業所を誘致した。(事業所 H27:1園→H30:5園) ▲ニーズの多い0～2歳児の保育に対応できるよう、適正な定員確保に努める必要がある。	子ども課
	評価:a			
(3)専門的な子育て支援と健全育成	1231	母子・父子家庭等へ各種手当や医療費を助成し、また、就業促進に努め、自立を支援します。	○母子・父子家庭に対して児童扶養手当、愛知県遺児手当を支給したほか、市単独制度による常滑市遺児手当を最大5年間月額2,500円支給した。 ○医療費助成については、愛知県の助成事業に基づき継続的な助成を実施し、医療の適正な利用の周知に努めた。	子ども課 保険年金課
	1232	児童虐待防止対策等の充実に努めます。	○H30年度に子ども家庭総合支援拠点を設置し、虐待対応を強化した。 ○養育支援訪問事業の訪問員をH28年度から2名とし、訪問件数の増加に努めた。	子ども課
	1233	障がい児施策の充実に努めます。	○H30年度に医療的ケアが必要な児童支援のため、コーディネーターを設置した。 ○親子育児教室を開催し、発達遅れのある児童の保護者に指導・助言を行った。 ○障害児福祉手当を対象となる重度の障がい児に支給した。 ○H30年度から軽度・中等度難聴児に対する補聴器の助成を開始した。 ▲身体に障がいのある児童を受け入れる施設などの環境が整っていない。	子ども課 福祉課
	評価:a			
	1234	青少年の健全育成に努めます。	○青少年非行防止と健全育成大会を開催した。 ○長期学校休業期間前に中学校区ごとに定期的に情報交換会を実施した。	子ども課
評価:b				

I-3 福祉

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(1)高齢者の支援	1311	高齢者を地域で支えるため、地域包括支援センターの機能強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括支援センターをH28年度から2法人に業務委託し、介護予防や地域の問題解決に努めた。</li> <li>○地域ケア会議を地域包括支援センターに委託し、地域の課題抽出や問題解決、困難ケースの対応等を行った。</li> <li>○高齢社会に対応するため、H28年度から生活支援コーディネーターを配置し、H30年度は5人体制で高齢者の日常生活の支援を行った。</li> <li>○H29年度から地域づくりの話合いの場(協議体)を小学校区単位で定期的実施した。</li> </ul>	高齢介護課
	評価:b		<ul style="list-style-type: none"> <li>▲地域関係者を中心に協議体「安心生活検討会」を継続実施し、住民自らの互助の力により、地域包括ケアシステムを推進する必要がある。</li> </ul>	
	1312-1	高齢者の社会参加や生きがいづくりのため、市老人クラブ、市シルバー人材センター、ボランティア活動等を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者の生きがい活動、友愛活動、社会福祉活動を推進する老人クラブへ運営費等を助成した。</li> <li>○高齢者の就業の機会を提供するため、シルバー人材センターへ運営費を助成し、高齢者の健康保持、活力ある地域社会づくりに貢献できる就業事業の推進を支援した。</li> </ul>	福祉課
	1312-2	高齢者の社会参加や生きがいづくりのため、市老人クラブ、市シルバー人材センター、ボランティア活動等を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○H28年度から社会福祉協議会が高齢者の社会参加とボランティア活動促進を目的に開始した「スマイルポイント」事業に対し、H29年9月から市負担金を拠出した。</li> <li>○「スマイルポイント」事業でQRコード読取りにより介護予防評価の数値化が可能なツールを導入した。(H30:スマイルポイント登録者数 3,800人、QR読取数 8,136件)</li> </ul>	高齢介護課
	1313	高齢者と認知症患者の在宅生活を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○H29年度に認知症ガイドブックを作成した。また、H30年度に認知症初期集中支援チームを設置した。</li> <li>○家族交流会を毎月開催するとともに、H29年度から2年毎に他市町と協力して行う大家族交流会を開催した。</li> <li>○H28年度に認知症地域カフェを新規に3か所立ち上げ、H30年度には7か所に増加した。</li> <li>○ひとり暮らし高齢者の訪問及びサポートを担う「高齢者サポーター」をH29年度から増員し支援体制の充実に努めた。(H28:35人→H30:42人)</li> <li>○成年後見を成年後見センターに委託し、周知・相談・申立支援を行った。</li> </ul>	高齢介護課
評価:b		<ul style="list-style-type: none"> <li>▲高齢者在宅福祉サービスについて、利用者が減少しているものがあるため、ニーズと実態に合わせて変更を検討していく必要がある。</li> </ul>		
1314	地域に密着した高齢者向けサービス提供基盤(施設等)について、民間による整備を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小規模多機能型居宅介護支援事業所について、H28年度に開業するなど、市内に2か所整備された。</li> </ul>	高齢介護課	
評価:b		<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ケアハウス(軽費老人ホーム)については、H29年度に公募したものの応募がなかったため、需要や社会情勢を考慮しながら再公募を検討する必要がある。</li> </ul>		
(2)障がい者の支援	1321	各種サービスの提供や相談事業を通して、障がい者の生活や就労を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害福祉サービスの利用者が年々増加しているため、障がい者からの相談に対応できるよう、障がい者相談支援センターに相談事業を委託した。(相談件数 H28:3,799件→H30:4,762件)</li> <li>○H28年度から、職員を対象に障がい者差別を解消するための研修を実施した。</li> </ul>	福祉課
	1322	障がい者が自立して生活する場として、グループホーム等の充実に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年々増加するグループホーム利用者に対し支援を行った。(利用者 H28:44人→H30:49人)</li> <li>○グループホーム事業者に対して支援を行った。</li> </ul>	福祉課
	1323	補装具や日常生活用具の提供、各種手当の支給を実施するとともに医療費の助成を拡充します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○精神障害者保健福祉手帳1級・2級所持者に対し、H28年10月から通院助成を全診療科目へ拡大し、H30年4月から入院助成を全診療科目へ拡大した。</li> <li>○年々増加する障がい者の日常生活用具のニーズに対応し、補装具・日常生活用具の提供を行った。(H28:556件→H30:610件)</li> </ul>	保険年金課 福祉課
	評価:a			

### I-3 福祉

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(3)社会保障制度事業の適正な運営	1331	特定健診・特定保健指導事業を中心に住民の健康の保持増進に努めるとともに、国民健康保険事業の健全運営に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療費の抑制を図るため、レセプト点検や保険者に対し医療費通知及びジェネリック医薬品の普及促進を実施した。</li> <li>○40歳から74歳の被保険者を対象とする生活習慣病に関する特定健康診査を実施した。</li> <li>○健康診査の結果により健康保持の必要性があると判断された被保険者に対し、特定保健指導を実施した。</li> <li>○40歳から74歳を対象に人間ドックを実施した。</li> <li>○データヘルス計画に基づく保健事業として、特定健診・特定保健指導の未受診者への受診勧奨を実施し、糖尿病予防教室等を開催した。</li> <li>○若い世代が生活習慣予防に取り組めるようにするため、40歳未満の健診の自己負担金を無料とした。</li> <li>○H30年4月から、これまでの市町村による国民健康保険の運営から、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに運営するようになった。</li> </ul>	保険年金課 健康推進課
	評価:a			
	1332	後期高齢者医療制度について、愛知県後期高齢者医療広域連合と連携して、適正な運営を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○後期高齢者健康診査は受診率が向上した。(H28:43.6%→H30:47.0%)</li> <li>○H29年度から人間ドックの受診を開始するとともに、健診結果の値による受診勧奨を行った。</li> </ul>	保険年金課 健康推進課
	評価:a			
	1333	市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を踏まえ、介護保険事業の円滑な実施に努めるとともに介護保険制度の適正な運営に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○H28年度から介護保険部会を毎年開催し、介護保険事業の適正な運営に努めた。</li> <li>○地域包括支援センター運営協議会を地域密着型サービス運営委員会と同時開催することにより、効率的に事業を実施した。</li> <li>○給付費通知送付やケアマネジャーへの指導等を行い、介護給付の適正化に努めた。</li> </ul>	高齢介護課
	評価:b			
1334	国民年金制度について、年金事務所と協力、連携し制度の周知を図り、理解の促進に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1号資格の得喪、免除申請、年金裁定請求等の事務や老齢福祉年金、障害基礎年金に係る事務を行った。</li> </ul>	保険年金課	
評価:a				
1335	生活保護に至る前の段階から、一人一人の状況に応じ自立に向けた相談支援などを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自立に向けた相談・支援を実施した。</li> <li>○相談事業の委託先である社会福祉協議会と連携を深め、対象者に対して住居確保給付を確実に給付した。</li> <li>○生活困窮家庭児童等に対し、市内2か所で学習支援員による支援を行った。</li> </ul>	福祉課	
評価:b				

I-4 教育・文化

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28～30)	担当課
(1)学校教育の充実	1411	幼児・児童・生徒一人一人を大切に、個々に応じた教育と指導の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不登校の児童生徒に対し、適応指導教室に指導員2名と補助員2名を配置し、集団生活への適応・自立を促し、学校復帰ができるように指導した。</li> <li>○スクールカウンセラーとして臨床心理士を1名配置し、発達障害や不登校・不登校傾向の児童生徒とその保護者を対象としたカウンセリングや教職員の相談を行った。</li> <li>○学校生活支援員を小学校に1名以上、中学校に2名以上配置し、個別の対応を必要とする児童生徒の支援を行った。</li> <li>○社会福祉士任用資格や精神保健福祉士の資格を持つスクールソーシャルワーカーを1名配置し、関係機関とのネットワークを活用することで、問題を抱える児童生徒の支援を行った。</li> <li>○教育相談員として特別支援教育士1名を配置、小中学校を巡回して、通常の学級や特別支援学級における特別支援教育に関する指導助言を、保護者や教諭に行った。</li> <li>○理科教育設備をH29年度に中学校、H30年度に小学校で整備した。</li> <li>○外国人英語講師(ALT)による小学校5・6年生の授業を実施した。(H28:年間15時間、H29:年間16時間、H30:年間17時間)</li> <li>○電子黒板を小学校5年生以上の教室に40台、中学校教室に20台整備した。</li> <li>○総合学習の実践の中で郷土の偉人をテーマに取り入れて学習を行うとともに、4年ごとに小中学校の社会科副読本を改訂し、郷土の偉人に関する内容を取り入れた。</li> <li>○鈴溪義塾に関わる偉人を児童生徒に知ってもらうため、H30年度に「鈴溪読本(簡易版)」を製作した。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲R2年度から始まる小学校5・6年生の英語の教科化(年間70時間)、3・4年生の外国語活動(年間35時間)に対応するため、ALTによる授業時間数を増やす必要がある。</li> <li>▲小学校において英語の教科化やプログラミング教育の必修化が始まるため、電子黒板及びタブレット端末を拡充する必要がある。</li> </ul>	学校教育課
	評価:a			
(1)学校教育の充実	1412	保護者や地域と連携し、地域の特色を生かした信頼される学校づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○H30年度から三和小及び南陵中にコミュニティ・スクールの活用について研究を委託した。</li> <li>○中学生を対象として、夏休み・冬休み・テスト週間の時期に公民館で地域未来塾を開設した。</li> <li>○H28年度から、中学生の質問に答えたり学習を見守ったりする役割を担う学習支援員を公募し、未来塾参加者の学習支援を行った。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲学習支援員をサポートする地域コーディネーターの成り手がいないため、市職員が担当している。</li> </ul>	学校教育課
	評価:a			
(2)生涯学習・スポーツ振興	1421	生涯学習施設における生涯学習活動・事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各年齢層に応じたニーズをとらえ、幅広い分野で生涯学習事業を実施した。</li> </ul>	生涯学習スポーツ課
	評価:a			
(2)生涯学習・スポーツ振興	1422	スポーツ指導者の育成・確保に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門講師による研修会や講習会を実施し、指導者の資質向上や新規育成に努めた。</li> </ul>	生涯学習スポーツ課
	評価:a			

## I-4 教育・文化

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(2)生涯学習・スポーツ振興	1423	スポーツ関係団体と連携し、スポーツ大会や各種レクリエーションの充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ関係団体と連携し、各年齢層に応じた大会・教室を開催した。</li> <li>○市体育館及び温水プールは、指定管理者制度の活用により、市民サービス向上を図った。</li> </ul>	生涯学習スポーツ課
	評価:a			
(2)生涯学習・スポーツ振興	1424	海を生かしたスポーツ大会等の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際トライアスロン大会「アイアンマン70.3」を毎年実施した。(H30年度に過去最多となるエントリー数1,761名/組を記録した)</li> <li>○「オープンウォータースイミング」(りんくうビーチ)の開催支援を行った。</li> <li>○H29年度に、竜の子街道広域観光推進協議会において竜の子街道サイクリングマップを作成した。</li> <li>○青少年体験活動支援センター事業及び公民館講座運営委託事業で自然体験学習を実施した。</li> </ul>	企画課 生涯学習スポーツ課
	評価:b			
(3)文化振興	1431	市文化協会等関係団体と連携して、発表会や展示会、世代間交流による文化活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市美術展及びふるさとの歌・踊り講習会の開催について周知に努めた。</li> <li>○市文化協会への助成を行った。</li> <li>○市民文化会館は、指定管理者制度の活用により、市民サービス向上を図った。</li> </ul>	生涯学習スポーツ課
	評価:a			
(3)文化振興	1432	伝統文化・文化財の保存・継承、普及を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財防火訓練を毎年実施した。</li> <li>○指定文化財及び市所有文化財の保護・保存を進めた。</li> <li>○保存団体及び沖縄県教育委員会と連携して重要無形文化財「組踊」特別鑑賞会をH30年度に開催した。</li> </ul>	生涯学習スポーツ課
	評価:a			

## 第2節 安心・安全で環境にやさしいまちづくり

### Ⅱ-1 防災・地域安全

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28～30)	担当課
(1)災害対応の体制づくり	2111	防災マップの更新・配布、災害用品の備蓄など、市民への情報提供及び啓発に努めます。	○H28年度に帰宅支援マップの更新を行った。 ○H29年度にハザードマップの更新を行った。 ○防災情報について、市の取組や新しい制度等を市広報に掲載し、周知を図った。 ○地区・小中学校・事業所から要望を受け、防災講話を実施した。	安全協働課
	評価:a			
	2112	災害対応マニュアルや災害時業務継続計画(BCP)等の作成について検討します。	○H28年度に職員の災害対応訓練を踏まえて各種災害対応マニュアルの作成・見直しを行った。 ○H28年度に「常滑市業務継続計画(BCP)【南海トラフ地震想定】」を策定した。 ○H30年度に大規模災害の発生を想定した早朝の参集訓練を実施した。	安全協働課
	評価:b		▲「常滑市業務継続計画(BCP)【南海トラフ地震想定】」について見直しを行うとともに適宜更新していく必要がある。	
	2113	災害時を想定し、自治体間や関係団体・事業所等との連携強化を図ります。	○「日本六古窯」の各市町(越前町、瀬戸市、丹波篠山市、備前市、甲賀市)、(株)アクティオ、あいち知多農業協同組合、愛知県社会保険労務士協会、(一社)LPガス協会と災害協定を締結した。	安全協働課
	評価:a			
	2114	自主防災組織、防災リーダー等の育成・支援による地域の防災力の向上に努めます。	○各地域の自主防災組織による活動に交付金支援を行った。 ○自主防災会の設立支援を行った。(団体数 H27:8団体→H30:9団体) ○毎年防災リーダー養成講座を開講し、地域の防災活動の人材育成を行った。	安全協働課
	評価:b			
	2115	災害時における要配慮者の確認などの体制づくりを推進します。	○避難所において要配慮者が必要とする備品について検討した。 ○避難行動要支援者支援制度を市広報及び市HPで周知し、制度への登録を呼びかけた。 ○支援者が持っている避難行動要支援者名簿を年2回更新した。	安全協働課 福祉課
	評価:a		▲避難所の開設や運営及び設備について、要配慮者の受入れを考慮した見直しをする必要がある。また、関係課と連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成を指導していく必要がある。	
2116	防災行政無線を整備します。	○H29年度から2か年かけて同報系防災行政無線(無線発信局(親局)及び屋外子局87局)を整備した。 ○多様な情報伝達手段の確保の一つとして、同報無線を受信できる防災ラジオを販売する準備を行った。	安全協働課	
評価:b				
2117	非常食の備蓄や仮設トイレ、防災倉庫等の設置を推進します。	○市内の備蓄品について適宜必要なものを購入し、管理を行った。 ○備蓄食料については、計画に基づき買い増し等を行った。	安全協働課	
評価:a				

## Ⅱ-1 防災・地域安全

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28～30)	担当課
(2)消防・救急体制づくり	2121	防災訓練の実施による防災意識の高揚に努めます。	○市総合防災訓練について、参加団体等からのアンケートを基に、新規項目の取り入れなど訓練内容の見直しを図り、防災意識の高揚に努めた。 ----- ▲市総合防災訓練において、避難所運営を主体とした訓練の実施などを検討する必要がある。	消防本部
	評価:a			
	2122	消防団、災害支援隊等の育成・支援に努めます。	○消防団活動を年間計画どおり実施した。 ○災害支援隊の育成を年間計画通り実施するとともに、隊員の増員に努めた。(H28:138人→H29:145人→H30:155人) ○少年消防クラブの育成を年間計画通り実施し、新規の研修を取り入れるとともに、クラブ加入へ向けた新規団体の研修参加に努めた。(H30:常滑東小学校で実施) ----- ▲消防団員の退団防止、入団促進及び災害支援隊員の高齢化に対する若年層の入隊促進を図る必要がある。	消防本部
	評価:a			
	2123	中部国際空港(株)等関係機関と連携し、航空機事故に対応できる体制を確保します。	○「中部国際空港緊急計画連絡協議会」により、計画どおり実施した。(H30年度は台風21号により中止した) ○中部国際空港消火訓練・救急医療活動総合訓練に市民病院も参加した。	消防本部 病院事務局
	評価:a			
	2124	救急救命士の養成を進めます。	○計画どおり救急救命士の養成を進めた。 H28:気管挿管1人、処置範囲拡大2人、薬剤投与2人 H29:処置範囲拡大2人、薬剤投与2人 H30:気管挿管1人、処置範囲拡大2人	消防本部
評価:a				
(3)災害に強い社会基盤づくり	2125	消防車、救急車等の更新整備を推進します。	○車両更新計画の見直しを図りながらも、計画どおり更新した。 H28:高規格救急自動車(救急用資機材含む)を更新、愛知県共済から補給車の寄贈 H29:化学消防ポンプ自動車・高規格救急自動車を更新 H30:資機材搬送車を更新	消防本部
	評価:a			
	2131	樋門、防潮堤等の海岸保全施設の維持・保全に努めます。	○H30年度に海岸保全施設の状況調査を開始した。 ----- ▲海岸保全施設の状況調査結果を基に長寿命化計画を策定し、計画に基づいて維持・保全を図る必要がある。	土木課
	評価:c			
	2132	急傾斜地崩壊対策を推進します。	○愛知県事業に伴い、地元自治体として急傾斜地関係者との調整を補佐した。 ----- ▲急傾斜地関係者との調整に苦慮している。	土木課
評価:b				
2133-1	公共下水道事業計画区域外の雨水排水施設の整備を推進します。	○新田町の排水路整備は、総延長L=650mのうちL=210mが完了した。 ○大谷、坂井、泉町の排水路整備を実施した。	下水道課	
評価:a				
2133-2	公共下水道事業計画区域内の雨水排水施設の整備を推進します。	○公共下水道事業計画区域内の雨水排水施設の整備は、汚水管路の整備と合わせて実施する。 ○西之口雨水幹線の放流口改良を実施した。 ○瀬木地区の雨水排水施設の整備工事を実施した。	下水道課	
評価:a				

## II-1 防災・地域安全

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28～30)	担当課
(3)災害に強い社会基盤づくり	2134	災害時給水拠点確保のため、上水道管路の耐震化を推進します。	○管路の耐震化を推進し、耐震化率の向上に努めた。(H28:16.8%→H30:18.4%) ○災害時の重要給水施設に応急給水栓を設置した。(H28:1か所→H30:4か所)	水道課
	評価:a			
	2135	民間木造住宅の耐震化を促進します。	○昭和56年5月以前に着工した民間木造住宅の耐震化を促進した。 (H28～30の3か年で耐震診断415件・耐震改修45件実施)	都市計画課
	評価:a			
	2136	老朽危険家屋の調査など、空き家等の適正管理を推進します。	○空家等の適正管理の促進を図った。 H28:「常滑市空家等対策協議会条例」を整備 H29:「常滑市空家等対策協議会」を設置、「常滑市空家等対策計画」を策定 H30:特定空家等の指定等を実施	都市計画課
	評価:a			
(4)地域安全の環境づくり	2141	交通安全施設の整備を推進します。	○要望が多い交通安全施設の整備を進めた。 ----- ▲通学路交通安全プログラム等により、改善が必要な箇所が増加しており、対応していく必要がある。	土木課
	評価:b			
	2142	子どもや高齢者等の交通弱者への交通安全教育及び通学路の点検を実施します。	○交通指導員を配置し、児童の登下校時の立哨、交通訓練を実施した。 ○高齢者交通安全協力員等による街頭立哨などの活動を支援した。 ○子どもを守る会や交通指導員による通学路の点検結果・要望を受け、危険箇所等の改善を行った。	安全協働課 学校教育課
	評価:b			
	2143	防犯ボランティアや自主防犯組織の育成・支援など地域防犯体制の整備を促進します。	○各地区への防犯灯設置費補助金について、H28年度から新規設置への助成に加え、LED化を対象とし、また、H29年度から市防犯協会事業から市の補助事業に変更した。 ○自主防犯活動団体へ防犯パトロール用品を貸出した。	安全協働課
	評価:a			
2144	消費生活相談員により、消費生活に伴う相談の充実を図ります。	○H29年度に消費生活センターを設置し、相談員4名体制で週4日開催に拡充した。 ○市内中学校、高齢者や民生委員向けに悪質商法による被害の未然防止及び拡大防止のための講座を開催した。 ○市内各戸回覧で被害情報の発信を行った。 ○国、県が実施する研修に参加し、消費生活相談窓口の機能強化に取り組んだ。 ○毎年、市内事業者に対し商品量目検査を実施した。 ----- ▲消費生活センターについて、相談員の高齢化や担い手不足が進み、センターを維持するための人員が確保できるかが懸念される。	商工観光課	
評価:a				

## II-2 環境保全・衛生

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(1)ごみ減量化の推進	2211	市民の協力を得ながら、更なるごみの減量化・資源化を推進します。	○H28年度に「常滑市ごみ処理基本計画」を策定し、1人1日当たりの家庭ごみ排出量の目標値を500グラムと定めた。 ○1人1日当たりの家庭ごみ排出量が目標値の500グラムを達成した。(H28:540グラム→H30:474グラム) ○H30年度から資源回収ステーションでの刈草・剪定枝の受入れを開始した。	生活環境課
	評価:a			
	2212	監視の実施や投棄物の早期回収などにより、不法投棄対策を進めます。	○不法投棄監視員による巡回監視を実施し、不法投棄の早期発見と回収、集積場の不適正排出対策看板設置等による啓発を実施した。	生活環境課
	評価:a			
	2213	広域ごみ焼却施設の整備を推進します。	○広域ごみ焼却施設の整備を推進した。 H28:「知多南部広域環境組合ごみ処理施設整備計画」の策定 H29:ごみ処理施設建設用地取得(公社→組合) H28~30:環境影響評価手続き H30:都市計画決定 H30.8:建設工事着工	生活環境課
	評価:a			
2214	リサイクル活動による資源化を推進します。	○資源回収ステーションの利用者の増加を図り、リサイクル活動による資源化を推進した。(1日あたり平均利用者数 H28:205人→H30:322人) H28:木製粗大ごみの受入れを開始 H30:刈草・剪定枝の受入れを開始	生活環境課	
評価:a				
(2)環境保全の推進	2221	アダプトプログラムの普及・促進に努め、市民と共に道路等の環境美化を進めます。	○アダプトプログラムの普及・促進に努めた。(登録件数 H28:103団体、5,741人→H30:111団体、6,015人) ○活動団体に軍手等の道具類を支給し、支援した。 ○H30年度にボランティア専用ごみ袋を作成した。	生活環境課
	評価:a			
	2222	再生可能エネルギーのPR及び普及・促進に努めます。	○H29年度から、事業者実施の「環境工作教室」において、市体育館にある太陽光発電をPRした。	生活環境課
	評価:b			
2223	大気、水質、騒音、振動等に関する環境監視を実施します。	○定期的な環境パトロールを実施した。 ○大気、水質、騒音の調査を実施し、市HPで結果を公表した。	生活環境課	
評価:a				
(3)環境衛生の推進	2231	適切な生活排水処理を推進します。	○合併浄化槽の新設・転換への助成を実施した。 ○浄化槽の適正管理について市広報、市HP、チラシ等で啓発した。 ○中部知多衛生組合分担金を支出した。	生活環境課
	評価:a			
	2232	火葬場の適正な管理運営に努めます。	○火葬施設や建物等の修繕を実施した。 ○H30年度に火葬炉の制御盤更新を行った。	生活環境課
	評価:b			
2233	高坂墓園の墓所整備を推進します。	○高坂墓園の墓所整備を推進した。(H30:墓所数 917区画、全残区画数 75区画、新規残区画数 38区画) ▲高坂墓園の残区画について、20区画かつ新規残区画を10区画確保できるよう、需要に応じて計画的に整備する必要がある。	都市計画課	
評価:b				

### 第3節 快適で住みやすいまちづくり

#### Ⅲ-1 都市環境

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28～30)	担当課
(1)公園緑地・水辺空間の整備	3111	緑化意識の普及・啓発に努めるとともに、緑化を推進します。	○緑の募金交付金を活用し、公共用地に植栽を行うとともに、学校への緑化資材の配布を行った。 ○愛知県の緑の街並み推進事業を活用し、民有地の建物・敷地の緑化に対する費用を助成した。 ○花いっぱいのもちづくりの推進として、市民と協働して花苗の栽培を実施し、各地区の花壇に配布した。	都市計画課
	評価:b			
	3112	都市公園等の適切な維持管理及び利用促進に努めます。また、総合公園の常滑公園の整備方針や大曾公園の在り方について検討します。	○清掃、樹木管理、施設修繕等の維持管理を実施した。 ○大曾公園について、旧屋外プール跡地活用や交通安全センター跡地の一体的利用、老朽施設の修繕について検討を行った。 ----- ▲常滑公園の整備については、機運が高まっていないため、具体的な検討に着手していない。	都市計画課
	評価:b			
	3113	小脇公園、前山ダム公園や農村公園の適切な維持管理及び利用促進に努めます。	○小脇公園の管理運営を指定管理者へ委託し、サービス向上を図った。 ○小脇公園の再整備として、森林遊歩道再整備の準備を進めた。 ○小脇公園の魅力向上を図るため、施設設置の研究を進めた。 ○前山ダム公園の草刈、清掃とトイレ浄化槽の保守点検、清掃の維持管理を実施した。 ○前山ダム公園の利用促進に向け、再整備の補助事業等を含め検討した。	農業水産課
	評価:b			
	3114	りんくうビーチについて、民間活力を活用した管理運営及びにぎわい創出に努めます。	○りんくう海浜緑地の指定管理の拡充を行った。 ○H30年度にりんくう南展望広場駐車場の有料化を実施した。 ○りんくう海浜緑地基金積立金について、将来的な施設修繕等に備え、基金に積立を行った。	都市計画課
評価:a				
3115		坂井海岸の環境整備を推進します。	○愛知県への要望により事業の進捗を図ることができた。	土木課
	評価:a			
(2)景観形成の推進	3121	やきもの散歩道等歴史的景観の整備・保全に努めます。	○レンガ煙突・窯等の外観改修や景観基準に適合した建築物・工作物の新築・改修等に際し、やきもの散歩道地区景観保全基金を活用して景観保全に係る費用の一部を助成した。 ----- ▲やきもの散歩道地区内の老朽空家対策及び耐震性のない住宅等の耐震化と景観保全との両立を図る必要がある。	都市計画課
	評価:b			
	3122	中部臨空都市や土地区画整理事業区域における良好な景観形成を促進します。	○中部臨空都市の良好な都市景観・都市環境の形成及び将来にわたっての持続を図るため、H28年度にりんくう地区計画を定め、「常滑市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」により建築物の用途を制限した。	都市計画課
評価:a				

### Ⅲ-2 都市基盤

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(1)市街地等の整備	3211	常滑駅周辺土地区画整理事業を推進します。	○移転補償と工事の施工を行った。	都市計画課
	評価:c		▲移転補償の遅れから、工事施工の遅れにつながった。	
	3212	土地区画整理事業を推進します。	○H30年度に大谷及び多屋土地区画整理事業について換地処分を行った。	都市計画課
	評価:a			
	3213	低未利用地の利活用を検討します。	○H28年度に低未利用地及び公益的施設用地の固定資産台帳を整備し、物件の情報整理を行った。	企画課
	評価:b		○H29年度に「常滑市公共施設アクションプラン」を策定し、将来的に活用するものと市として保有の必要がないものとを区別した。 ○旧常滑市民病院跡地について早期民間売却に向けた検討を進めた。 H28:市場調査を実施し、個別ヒアリング及び現地説明会を実施した H29:国の都市再生緊急整備地域の指定を踏まえた市場調査アンケート、個別ヒアリングを実施し、複数の関心ある事業者を確認した H30:土地利用の方針を借地・複数区画に分割・市が建物解体とした	
	3214	既存の工場跡地の利活用を促進します。	○物件所有者と調整を行い、H29年7月に国の都市再生緊急整備地域の指定を受けた。	企画課
評価:b	▲工場跡地の利活用について、引き続き物件所有者と調整を図る必要がある。			
3215	「常滑市都市計画マスタープラン」を改定します。	○平成30年度から都市計画に関する基本的な方針を示した「常滑市都市計画マスタープラン」の改定に着手した。	都市計画課	
(2)道路交通網の整備	3221	地域幹線道路の整備を推進します。	○愛知県への要望により、国道247号の南進は継続的に事業が実施された。 ○国道247号整備に伴う市道付け替え工事のための用地取得(公共補償)を行った。 ○榎戸大高線の用地買収が実施された。	土木課
	評価:b		▲事業の推進に向け、愛知県への要望を継続する。	
	3222	市道の整備を推進します。	○石瀬線については、計画どおりH30年度に事業が完了した。	土木課
評価:c	▲多屋線については、国費の配分が低く、事業の進捗が遅れている。 ▲狭あい道路の整備については、市民からの後退用地の寄附が必要となるため、進捗が悪い。			
(3)公共交通の確保・充実	3231	路線バスの確保、コミュニティバス等の調査・検討を行い、地域公共交通の確保・充実を図ります。	○北部バスの運行を委託(運転手)し、利用者数も増加した。 (北部バス利用者数 H28:9,626人→H30:11,937人) ○市南部地区の公共交通を維持するため、知多バス常滑南部線への補助を実施した。 (南部線利用者数 H28:43,392人→H30:46,154人)	安全協働課
	評価:a		▲市庁舎移転を踏まえた新たな地域公共交通の在り方について調査・検討する必要がある。	
	3232	鉄道利用者の利便性向上のため、ダイヤ・運行本数の充実について、鉄道事業者へ要望します。	○市内各駅における利用状況を毎年度把握した。 ○H30年度に知多市町会として中部国際空港二本目滑走路建設要望の中で、アクセスの向上として要望するため、中部国際空港二本目滑走路建設促進期同盟会(事務局:県)と調整を行った。	企画課
評価:d	▲H30年度にCHITACATプロジェクト(中部国際空港、イオンモール常滑等)が実施した鉄道事業者への要望に同行したが、市単独では要望できていない。			

### Ⅲ-2 都市基盤

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(4)安定した給水と適正な下水処理	3241	上水道施設の整備・更新を推進します。	○公共下水道工事等の機会を活用しながら、老朽化した配水管路を更新した。 (新設・更新管路延長:H27~30 17.7km) ○配水場・ポンプ場の老朽設備の更新に努めた。	水道課
	評価:b		▲老朽化が進む施設の計画的な更新が必要である。	
	3242	公共下水道施設の整備を推進します。	○公共下水道事業計画区域1,241haのうち1,108.4haの汚水管路を整備した。 ○R2年度に農業集落排水事業の宮石地区を公共下水道処理区域へ編入するための汚水管路(L=1,133m)整備が完了した。 ○愛知県国際展示場やホテル等の開業に伴い、空港関連汚水管路等の整備を実施した。 ○常滑浄化センターの流入ポンプ棟及び水処理施設の建設に着手した。	下水道課
	評価:a		▲公共下水道全体計画区域は1,854haであり、R8年度以降の残整備面積は613haとなるため、計画区域の整備が完了するにはかなりの年月がかかる。	
	3243	浄化センターで発生する汚泥の広域処理について、関係機関と連携しつつ推進します。	○常滑浄化センターで発生する汚泥を処理するため、衣浦西部浄化センターに共同汚泥処理施設の建設工事について愛知県へ事務委託した。	下水道課
	評価:a			
(5)社会基盤の適切な維持管理	3251	道路、橋りょう等の点検及び計画的な修繕を進めます。	○H26年度に実施した道路ストック総点検の不良箇所について、舗装の補修を実施した。 ○橋梁修繕計画に基づく修繕を実施した。	土木課
	評価:b			
	3252	河川、海岸等の適切な維持管理を進めます。	○唐崎川護岸通路修繕、坂井川転落防止柵修繕、大落川護岸修繕、樽水川護岸修繕、新居川の浚渫等を実施した。	土木課
	評価:b		▲河川の護岸・河床は老朽化が著しく、本格的な改修の必要性は高まっているものの、多額の費用が見込まれるため進んでいない。	
	3253	雨水排水施設の適切な維持管理を進めます。	○H29年度に多屋南部雨水ポンプ場施設の更新及び耐震化が完了した。 ○榎戸雨水ポンプ場施設の更新及び耐震化は、ストックマネジメント計画の策定後に実施することとした。	下水道課
	評価:a			
	3254	公共下水道施設の適切な維持管理を進めます。	○機器の更新・修繕計画を策定し、計画的に更新・修繕を実施した。	下水道課
評価:a				
3255	農業集落排水処理施設の適切な維持管理を進めます。	○H30年度から坂井集落排水処理場の更新化工事に着手した。	下水道課	
評価:a				

## 第4節 活力とにぎわいのあるまちづくり

### IV-1 産業振興

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28～30)	担当課
(1)農業・漁業の振興	4111	農業経営体の育成・支援を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認定農業者の新規認定や更新により育成支援に努めた。(H28:87件→H30:78件)</li> <li>○新規就農者への支援を行った。(H28～30:7人)</li> <li>○農業経営基盤強化資金の利子補給を行った。(H28～30:8件)</li> <li>○農業経営体による機械、施設等の整備に対する支援を行った。(H28～30:11件)</li> <li>○畜産クラスター協議会が行う高収益型を目指す整備に対して支援を行った。(H28～30:5件)</li> </ul>	農業水産課
	評価:b			
	4112	アグリ常滑営農支援機構が実施する畑作振興策を支援し、農地の有効活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○畑作振興事業により、推奨作物や新規振興作物の振興を行った。</li> <li>○機構集積協力金の対象者を中心に、中間管理事業の利用促進を図った。</li> </ul>	農業水産課
	評価:b			
	4113	のり養殖の総合的な振興策を推進するとともに、水産資源の維持・増加策及び漁業施設整備を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産地協議会を通じ、のり加工場の運営支援を実施した。</li> <li>○漁業経営の安定化を図るため、アサリの稚貝を放流し資源確保に努めた。</li> <li>○干潟の機能低下を招く生物の除去・アサリ被覆網の設置により、水産資源の保護と干潟機能の維持・回復を進めた。</li> <li>○漁業経営の安定化を図るため、漁業協同組合の実施する共同利用施設の整備に対して助成した。</li> </ul>	農業水産課
	評価:b			
	4114	漁港施設の機能保全を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鬼崎漁港及び小鈴谷漁港について、漁業に資する施設の機能保全計画を策定した。</li> <li>○H30年度に鬼崎漁港の浚渫を実施した。</li> </ul>	土木課
	評価:a		<p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲鬼崎漁港及び小鈴谷漁港について、機能保全計画を基に必要な修繕を実施していく必要がある。</li> </ul>	
	4115	農業者の要望に合わせ、6次産業化への取組を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国家戦略特区による農家レストランの設置を支援した。(H28～30:2件)</li> <li>○H30年度に農家レストランが2店舗開業した。</li> </ul>	農業水産課
	評価:b			

IV-1 産業振興

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(2)商業・工業の振興	4121	とこなめ陶の森の充実を図ります。	<p>○やきものづくり手を育てる研修制度について、研修応募者の増加、研修後の自立促進が図れるよう見直し、R3年度から実施することとした。</p> <p>○R3年度の資料館開館40周年にリニューアル・オープンすることとし、それに向けて展示リニューアルの基本構想及び基本計画・基本設計を策定し、常設展示の内容刷新の準備をした。</p> <hr/> <p>▲とこなめ陶の森の研修制度については、見直したものの、成果が表れるまでには時間を要すると考えられる。</p> <p>▲施設利用者及び市内やきもの関連施設との連携が必要である。</p>	とこなめ陶の森
	評価:b			
	4122	常滑焼に関係する業界や団体と連携し、ブランド力の向上、人材(後継者)育成、市場開拓の取組を促進します。	<p>○長三賞の在り方を見直した結果、H29年度から休止することとした。</p> <p>○テーブルウェアフェスティバル出展支援のほか、常滑焼の海外販路開拓について13件の支援を行った。</p> <p>○H28年度には、ジェットロと連携し海外バイヤーを招聘した。</p> <p>○H28年度に常滑のやきものをまとめた「TOKONAME BOOK」を製作した。</p> <p>○H29年度に日本六古窯として「日本遺産」の認定を受け、産地を紹介するタブロイド誌や動画・ホームページの製作、各産地ごとの巡回展などを通して、産地PRを行った。</p> <p>○関連個別計画「常滑市陶業陶芸振興事業基金を活用した計画(H28~R2)」の円滑な推進を図るとともに事業の実施効果を高めるため、外部有識者から適切な支援、提案及び助言をもらい、事業を企画・立案した。</p> <p>○H29年度から2か年かけ、やきもの散歩道の出発地点となる陶磁器会館の魅力向上のため、リニューアル事業を実施した。</p> <p>○H29年度から市内飲食店等が常滑焼の器を購入する際の一部補助し、来訪者が常滑焼の器に触れる機会を促進した。</p> <p>○焼き物を活用した持続可能なまち・もの・ことづくりのために、自らが考え、新たな事業を創出できる人材を育成することを目的とした「とこなめ焼DesignSchool」をH29年度から実施した。H29年度は15名の応募者の中から8名を選定し、新たな事業の旗揚げにつながる機会を創出した。</p> <p>○焼き物が縁となり明治時代に交流が始まった中国宜興市と友好都市提携に向けた調整を実施した。</p> <hr/> <p>▲長三賞休止に伴い、3つの代替事業を実施したが、成果が見えにくいため、長三賞の在り方を含めて検討する必要がある。</p> <p>▲「日本遺産」については、R2年度から国庫補助による支援がなくなるものの、認定後3年間で製作した成果物等を活用し、さらにPRしていく必要がある。</p> <p>▲「とこなめ焼DesignSchool」については、H30年度は応募者がなく、実施できなかったことから、事業の在り方を検討する必要がある。</p>	商工観光課 とこなめ陶の森
	評価:b			

## IV-1 産業振興

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(2)商業・工業の振興	4123	小規模企業等振興資金融資の利用促進などにより、中小企業の経営の安定化に向けて支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内中小企業者の経営安定及び活性化を図るため、市内金融機関に預託し、事業に必要な運転及び設備資金の融資の斡旋を実施した。</li> <li>○小規模企業等振興資金融資及び創業等支援資金を利用した市内中小企業者に対し保証料の50%(上限10万円)の補助を実施。</li> <li>○創業等支援資金についてはH29年度から補助対象とした。</li> <li>○市内の小規模事業所等の振興と安定に寄与するための事業を展開する常滑商工会議所へ助成した。</li> <li>○H29年度から「中小企業者人材採用支援補助金」を新設し、知多地域学生就職情報センターが運営する情報誌・インターネット情報サイトへの就職情報掲載及び合同就職説明会への参加などに対して補助し、市内中小企業者の人材確保を支援した。</li> </ul>	商工観光課
	評価:a			
	4124	常滑駅前のにぎわいを創出し、活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○常滑駅前活性化事業として「屋台倶楽部」を後援した。(夏季)</li> <li>○駅前イルミネーションの支援を行った。(冬季)</li> </ul>	商工観光課
	評価:a			
	4125	商店街の活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内商店街、街路灯組合が設置する街路灯の電灯料及び修繕料に対し補助を行った。</li> <li>○H29・30年度において、街路灯の撤去費用に対し補助を行った。</li> </ul>	商工観光課
	評価:b		▲市内の商店街は、年々減少や縮小傾向にあるため、その在り方を検討していく必要がある。	
4126	既存の工場跡地の活用促進及び新たな工場用地の確保について調査・検討します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新開町6丁目等の市及び公社所有地への企業誘致を行った。(H28~30:契約7件)</li> <li>○西仲根グラウンドについて工業用地としての整備及び公募を行い企業を誘致した。</li> </ul>	企業立地推進室	
評価:b		▲市内企業等から新たな工場用地の要望があるものの、適地がない状況である。		
(3)観光振興	4131	中部臨空都市と既存の観光施設等との連携について検討します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「常滑市観光振興計画2017」20項目に着手した。</li> </ul>	商工観光課
	評価:a		▲やきもの散歩道における空き工場等の利活用の検討については、LOVETOKO事業で取り組んだが、LOVETOKO事務局の事業者が変更したため進んでいない。	
	4132	市観光協会等と連携し、国内外から観光客の受入体制の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市総合パンフレット及びやきもの散歩道マップ(日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語)を作成し、市の内外(国外含む)で配布PRを行った。</li> <li>○観光協会の法人化を支援し、「グルメGUIDE」等の作成やイベント出展のほか、商談会を実施した。</li> <li>○(一社)とこなめ観光協会と4つの支部(大野・多屋・常滑・坂井)の情報の一本化及び連携の強化を図った。</li> <li>○市観光プラザ、陶磁器会館、陶の森研究所、廻船問屋瀧田家、展示工房館に無料公衆無線LAN(Wi-Fi)を設置した。</li> <li>○消費税免税制度や先進例について、(一社)とこなめ観光協会の会員に対して説明会を開催した。</li> <li>○「常滑焼まつり」、「納涼花火大会」、「常滑お笑いEXPO」、「ねこフェスタ」などイベントのPRなどの支援を行った。</li> </ul>	商工観光課
評価:a		▲インバウンド客に対して「旅前」の情報提供が行き届いていないため、PRの方法を検討する必要がある。		

## IV-1 産業振興

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(3)観光振興	4133	知多半島観光圏協議会等を活用して、広域的な観光振興を図ります。	<p>○知多半島5市5町で連携し、観光情報Webサイト製作・広域観光パンフレット作成・イベントの開催等を行った。</p> <p>○海外のメディア・旅行会社等を招聘するとともに、中国、香港、ベトナム、タイで現地旅行会社に訪問PRを行い、海外から常滑への誘客活動を行った。</p> <p>○「竜の子街道広域観光推進協議会」を設立し、西尾市・碧南市・半田市と連携して共通の地域資源を活かした誘客事業を行った。</p> <p>-----</p> <p>▲愛知県国際展示場の来場者を内陸の観光地等へ誘導するよう取り組む必要がある。</p>	商工観光課
	評価:a			
	4134	新たな観光資源の掘り起こしと既存の観光資源を磨き上げる取組を推進します。	<p>○市内の撮影スポットをまとめた「いいところ撮りGUIDE MAP」を製作した。</p> <p>○日没後も周遊を行うインバウンド客に対応するため、招き猫通りライトアップを検討した。</p> <p>○海水浴場など観光拠点整備を推進した。</p> <p>○市観光プラザで常滑土産の販売を始めた。</p> <p>○H28年度に「竜の子街道広域観光推進協議会」でお土産新メニューの開発を行った。</p> <p>-----</p> <p>▲常滑土産の新メニューを考案し継続的に販売していく必要がある。</p>	商工観光課
	評価:a			
	4135	やきもの散歩道に点在する空き工場や空き家について若手の事業者等とのマッチングによる利活用を検討します。	<p>○土管坂休憩所を拠点に、やきもの散歩道内の空き家情報等の集約を試みた。(紹介件数 空き家:0件、空き工場:2件)</p> <p>-----</p> <p>▲やきもの散歩道内の空き家については、活用したい(借りたい)人のニーズと所有者の売りたいというニーズとがうまくマッチングできていない。</p>	商工観光課
評価:d				
(4)雇用・勤労者の支援	4141	雇用奨励制度を活用するなどして、市民の雇用を促進します。	<p>○りんくう町立地企業に対し、雇用促進奨励金の交付を行った。(H28~30:5社、8人)</p> <p>○企業立地が進んだことで、市域の求人状況は改善した。</p> <p>-----</p> <p>▲既存企業の人材確保に今後も努める必要がある。</p>	企業立地推進室
	評価:a			
	4142	地域職業相談室とともに、求人・求職情報の提供を進めます。	○求人自己検索機による求人情報の提供、雇用相談及び雇用に関する情報提供を実施した。	商工観光課
	評価:a			
	4143	「わーくりに知多」への加入促進に努め、中小企業勤労者の福利厚生を充実を図ります。	<p>○知多地区勤労者福祉サービスセンターに加入したパート従業員の事業主負担分を1人につき1ヶ月300円を負担した。</p> <p>○知多5市5町と労働福祉団体が協力して、勤労者の福利厚生を行う「知多地区勤労者福祉サービスセンター(わーくりに知多)」に負担金を支出した。</p>	商工観光課
	評価:a			
4144	勤労者の持ち家を促進し、市内への定住を図ります。	<p>○住宅資金を東海労働金庫に預託金として支出し、勤労者の住宅難の緩和と住生活の向上を図った。</p> <p>-----</p> <p>▲市内中小企業の現状を把握し、よりよい支援策を検討する必要がある。</p>	商工観光課	
評価:b				
4145	仕事と生活が調和した社会の実現のため、ワーク・ライフ・バランスを推進します。	<p>○愛知労働局等と連携し、働く環境の整備、職業の確保、男女の均等な雇用機会の確保などに関する知識について、広告物を掲出した。</p> <p>-----</p> <p>▲ワーク・ライフ・バランスについて、継続的に周知活動をしていく必要がある。</p>	商工観光課	
評価:b				

## IV-2 空港・中部臨空都市

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(1)空港との連携と空港・アクセスの機能充実	4211	空港等との連携によるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○H27年3月に「伊勢志摩サミット協力都市」を表明し、H28年度に空港におけるイベント等について愛知県・空港会社と連携した。</li> <li>○H29年度から空港・イオンモール・市民文化会館などを会場とした「常滑お笑いEXPO」を開催した。</li> <li>○知多市町会として愛知県及び愛知県議会に対して中部国際空港連絡道路の通行料引き下げ、名浜道路早期整備などの要望活動を実施した。</li> <li>○愛知県国際展示場の整備に際し、周辺道路など整備等に係る事務的な調整を進めた。</li> </ul>	企画課
	評価:a			
	4212	空港機能の強化(完全24時間化)と空港アクセスの充実について関係機関とともに促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昇龍道プロジェクトについて空港会社のほか、中部運輸局や中部国際空港利用促進協議会と連携し、利用促進に取り組んだ。</li> <li>○H29・30年度に愛知県と連携し、自動運転実証実験を実施した。</li> <li>○知多市町会として中部国際空港二本目滑走路の建設を要望するため、中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会(事務局:愛知県)と調整を行った。</li> <li>○りんくうIC出口追加工事について、愛知県道路公社を始めとする関係機関と調整を行った。</li> </ul>	企画課
	評価:b			
(2)中部臨空都市(エアフロント地区)のまちづくり	4213	(都)西知多道路及び名浜道路の早期整備に向けて国等へ要望します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国に対し、愛知県とともに早期完成の要望活動を行った。</li> <li>○市役所内に知多建設事務所西知多道路常滑出張所が設けられ、用地買収に着手した。</li> </ul>	土木課
	評価:b		<ul style="list-style-type: none"> <li>▲西知多道路全線が事業採択されるよう愛知県とともに要望していく必要がある。</li> </ul>	
(2)中部臨空都市(エアフロント地区)のまちづくり	4221	中部臨空都市へのホテルや商業施設等の立地を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中部臨空都市への企業誘致を進めた。 (成約面積率 H27:52.0%→H30:57.7%、契約件数 H28~30:10件)</li> <li>○立地企業に対し、立地促進奨励金の交付を行った。 (交付者数:新規6社、継続4社の計10社)</li> </ul>	企業立地推進室
	評価:a		<ul style="list-style-type: none"> <li>▲空港対岸部において、大区画等を含めて未分譲の土地が残っている。</li> </ul>	

### IV-3 シティプロモーション

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(1)シティプロモーションの着手	4311	効果的なシティプロモーションの在り方を検討し、推進します。	<p>○国の交付金を活用し、土管坂休憩所の活用を開始した。</p> <p>○市職員出演によるPR動画及びパンフレットの製作・発信を実施するなど、LOVE TOKO事業を実施した。</p> <p>○ふるさと納税に係る事務負担軽減のため、H29年度から業務一括代行委託を導入した。</p> <p>○ふるさと納税大手ポータルサイトへの掲載により、寄附金額と件数が増加した。(H29:288件、28,771千円→H30:784件、約42,476千円)</p> <p>○H30年度からSNS(TikTok)を活用したPRを実施した。(フォロワー数:H30年度 13,200人)</p> <p>○H29年度に「日本六古窯」として日本遺産の認定を受け、産地を紹介するタブロイドや動画・ホームページの製作、各産地での巡回展実施などを通して、産地PRを行った。</p> <p>○子どもたちが常滑焼に触れ、体験し、学ぶ機会を創出するため、小学生を対象とした体験学習事業を実施した。(H30年度~)</p> <p>○「世間遺産」の状況(駐車場・交通手段の有無等)を確認し整理した。R1年度に開催するフォトジェニックツアーを計画した。</p> <p>○土管坂休憩所を拠点に、やきもの散歩道内の空き家情報等の集約を試みた。</p> <hr/> <p>▲シティプロモーションに関し効果的な情報発信ができるよう、需要を的確に捉えて柔軟に対応していく必要がある。</p> <p>▲やきもの散歩道内の空き家については、活用したい(借りたい)人のニーズと所有者の売りたいというニーズとがうまくマッチングできていない。</p>	企画課 商工観光課 生涯学習 スポーツ課
	評価:b			

## 第5節 ともに創るまちづくり

### V-1 参画・協働

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28～30)	担当課
(1)協働によるまちづくり	5111	協働のルールや仕組みづくり、ボランティア・NPOの活動を促進します。	○関係委員会の中で協働のルールや仕組みの整備について検討するとともに、各種会議に参加して情報収集及び現状把握に努めた。	安全協働課
	評価:b			
	5112	地区のまちづくりを活発にし、住民の絆づくりを促進します。	○各地域の活動費用の支援及びまちづくりに対する補助金支援に努めた。 ----- ▲高齢介護課及び社会福祉協議会と共同で「安心生活検討会」を実施し、把握した各地域の課題への支援方法について検討する必要がある。 ▲自治組織への加入率は減少傾向にある。(H28:70.9%→H30:67.4%)	安全協働課
	評価:b			
(2)男女共同参画の推進	5121	男女共同参画社会の推進団体を支援して意識啓発に努めます。	○年3回程程度の講座を開催し、啓発事業に取り組んだ。 ○団体の推進事業の支援に取り組んだ。(男女共同参画推進団体数 H28:1→H30:1)	安全協働課
	評価:b			
	5122	政策・方針決定の場への女性の参画の拡大を図ります。	○関連情報の収集・発信及び各審議会・委員会等の登用率向上策の周知により、登用率が上昇した。(H28:21.4%→H30:23.2%)	安全協働課
評価:b				
	5123	ドメスティック・バイオレンスの防止や被害者支援など、暴力の根絶に努めます。	○専門相談員による相談窓口開設日を増やすなど相談体制の充実に努めた。(H28:6回→H30:12回) ○庁内関係窓口職員及び幼保こども園の園長向けに研修を実施し、被害者保護のための連携体制の充実に努めた。	福祉課
	評価:a			
(3)国際交流・多文化共生の推進	5131	常滑国際交流協会等と連携し、外国人が暮らしやすい環境整備(相談体制、多言語化)や国際交流を推進します。	○ポルトガル語による外国人居住者向け生活相談の実施及び外国人向けホームページの開設を行った。 ----- ▲国際化・多文化共生推進構想は策定できなかった。	安全協働課
	評価:b			
	5132	TSIEによる小中学生の国際交流活動を支援します。	○「常滑市内児童生徒国際交流推進協議会(TSIE)」を支援し、市内小学生児童の海外派遣及び海外児童の受入を継続実施し、国際交流の機会の創出を図った。(海外派遣:毎年4か国、海外児童受入:毎年4か国) ○H30年度から海外派遣事業で引率をする教員等の旅費・日当を全額市で負担することとした。	学校教育課
	評価:a			

## V-2 行財政運営

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(1)市民に信頼される行政運営	5211	職員の適正な定員管理に努めるとともに、市民に信頼される職員の育成を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「第6次常滑市定員適正化計画」に基づき、適正な定員管理に努めた。 一般職の職員数 H28:計画値501人・実績値478人、H29:計画値476人・実績値:483人、 H30:計画値484人・実績値488人、H31:計画値484人・実績値:488人 ※医療職、再任用及び病院・ポートレース事業採用職員を除く</li> <li>○人材育成基本指針に基づき、毎年度研修計画を策定し、各種研修及び勉強会を実施した。</li> <li>○人事評価制度を導入し、実施した。</li> </ul>	職員課
	評価:b			
(1)市民に信頼される行政運営	5212	個人情報保護や情報セキュリティに配慮しながら、ICTを活用した情報の適正な管理を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○LGWAN・電子自治体推進協議会と共同でセキュリティ監査を行い、参加団体のセキュリティレベルの向上及び格差解消を図った。</li> <li>○H29年度に国・その他機関との運用テストを実施するとともに、システム改修を実施した。</li> <li>○インターネット接続系システムを外部の脅威から守るため、高度なセキュリティ機能を備えたあいち情報セキュリティクラウドの共同利用をH29年度に開始した。</li> <li>○H29年度に情報系ネットワークをインターネット接続系とLGWAN接続系に分割した環境で各業務が円滑に行えるよう機材の設置やシステムの設定を実施した。</li> </ul>	企画課
	評価:a			
(2)効果的な情報提供	5221	ソーシャルメディアを活用した情報提供を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公式フェイスブックへの投稿により積極的な広報活動を行った。 (いいね数 H27:1,767→H30:2,259)</li> <li>○H30年度にブラジル人向けフェイスブックページを開設した。</li> <li>○H30年度からSNSアプリ「TikTok」で動画の配信を開始し、自治体では全国初となるPR動画を配信した。(フォロワー数 H30:13,200人)</li> </ul>	秘書広報課
	評価:a			
(2)効果的な情報提供	5222	広報とこなめや市ホームページの充実を図り、また、ケーブルテレビ等を積極的に活用して情報提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報とこなめは予定どおり編集・発行し、表紙の写真を大きくし、特集ページを作成するなど紙面の充実を図った。</li> <li>○市ホームページをより見やすく、分かりやすくするため、H28年度にリニューアルした。</li> </ul> <p>-----</p> <p>▲ケーブルテレビの行政(文字)放送は、放送件数が減少した。</p>	秘書広報課
	評価:b			
(3)安定した財政運営	5231	各種事業の節減合理化や収入増加策に取り組み、計画的な財政運営を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別職期末手当及び管理職手当の削減など人件費の抑制に努めた。</li> <li>○人件費の抑制及び投資事業の繰延等を始め、行財政改革に係る項目を着実に推進し、身の丈にあった財政運営を行い、財政調整基金残高等の目標を達成した。</li> <li>○用途を廃止した行政財産の売却、公募型プロポーザル及び未利用地の新規貸付等を行い、財源の確保に努めた。</li> </ul>	職員課 総務課
	評価:a			
(3)安定した財政運営	5232	統一的な基準による地方公会計を整備し、透明性の高い行財政運営を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○統一基準による財務書類について、総務省から示されたマニュアルに基づき、普通会計、全体会計、連結会計における財務書類をそれぞれ作成した。</li> <li>○H28年度に固定資産台帳を作成し、年度更新を行った。</li> </ul>	総務課
	評価:a			

## V-2 行財政運営

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28～30)	担当課
(4)公共施設マネジメントの推進	5241-1	「常滑市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設マネジメントを推進します。	<p>○H28年度に「常滑市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の管理に関する基本的方針を定めた。</p> <p>○H29年度に「常滑市公共施設アクションプラン」を策定し、40年後の施設総量の適正化目標を25%縮減と定めた。</p> <p>○市庁舎の建替移転及び老朽化が著しい図書館の本館機能の移転分散について具体的検討を進めた。</p> <p>-----</p> <p>▲文化施設の複合化については、実施時期を前期(～R6年)から中期(R7～16年)以降へと先延ばしたことから、実施時期及び在り方を検討する必要がある。</p>	企画課
	評価:b			
	5241-2	市役所庁舎の耐震化を図ります。 (市役所庁舎の新築移転へ方針転換)	<p>○H29年度に市民会議を開催し、「庁舎の高台への移転新築」の方針を決定した。</p> <p>○H30年度に「常滑市新庁舎基本構想」を策定のうえ、「常滑市新庁舎建設基本設計」を策定した。また、施工候補者を選定し、実施設計に着手した。</p> <p>○R3年3月末の新庁舎竣工を目指すとともに、バリューエンジニアリングの検討により建設費の抑制に努めている。</p>	施設マネジメント課
	評価:b			
	5241-3	保育園の改修等の実施及び常滑幼稚園の建替えを検討します。	<p>○H29年度に保育園・こども園の改修に関する基本設計を行い、改修工事の順番を検討した。</p> <p>○H30年度に丸山保育園を改修した。</p> <p>-----</p> <p>▲常滑幼稚園の建替えについて、建替え場所や在り方を含めて検討する必要がある。</p>	こども課
	評価:b			
	5241-4	児童育成クラブ施設を整備します。	○H28年度に常滑児童センター敷地内に育成室及びトイレなど児童育成クラブ専用施設を整備した。	こども課
	評価:a			
	5241-5	小脇公園の展望台を取り壊します。	○H28年度に展望台の取壊しを完了した。	農業水産課
	評価:a			
	5241-6	とこなめ陶の森資料館の改修及び耐震補強を実施します。	<p>○緊急性の高い屋上防水改修工事のみH28年度に実施した。</p> <p>○資料館開館40周年となるR3年度に計画するリニューアル・オープンに併せ、施設改修及び耐震補強の準備をした。</p> <p>-----</p> <p>▲施設の維持について、改修など継続的に対応していく必要がある。</p>	とこなめ陶の森
	評価:b			
5241-7	公営住宅の改修等を実施します。	<p>○老朽化が進む公営住宅について、入居者の良好な住環境の維持保全を図るため、計画的な改修工事等を実施した。</p> <p>-----</p> <p>▲耐用年数到達時の統廃合や建替え更新について検討する必要がある。</p>	都市計画課	
評価:a				
5241-9	名鉄西ノ口駅の公衆トイレを整備します。	○H28年度に西ノ口駅にトイレを設置した。	土木課	
評価:a				

V-2 行財政運営

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(4)公共施設マネジメントの推進	5241-10	小中学校施設の大規模改造及び設備の更新等を実施します。	○H28年度に常滑東小学校北館の大規模改造工事を実施した。 ○H30年度に鬼崎中学校の第1期大規模改造工事を実施した。 ○H30年度に全小中学校へのエアコン設置に向け、基本設計・実施設計を行った。 ○H30年度に全小中学校のアスベスト除去が完了した。	学校教育課 施設マネジメント課
	評価:b		▲計画的に大規模改造工事及び設備の更新工事を進めていく必要がある。	
	5241-11	小中学校体育施設の補修等を実施します。	○小中学校のプール修繕及び屋内運動場改修工事を順次実施した。	学校教育課 施設マネジメント課
	評価:a		▲計画的に体育施設の改修工事及び設備の更新工事を進めていく必要がある。	
	5241-12	常滑東小学校の児童数増加に対応した軽量鉄骨校舎の増築を実施します。	○H29年度に常滑東小学校南校舎を整備し、H30年度から供用を開始した。	学校教育課
	評価:a			
	5241-13	生涯学習施設の修繕等を実施します。	○公民館の長寿命化を図るため、H30年度から必要な修繕を開始した。 ○文化会館及び図書館については複合文化施設への建替えを見据え、H30年度から必要な調査及び施設維持のための修繕を開始した。 ○図書館本館の老朽状況等を踏まえ、H30年度に今後の方針検討を行った。	生涯学習 スポーツ課
	評価:a			
	5241-14	消防団車庫等の改修及び取り壊しを実施します。	○消防団車庫等の改修及び取り壊しを実施した。 H28:常滑分団1班基幹車庫の外壁等改修工事を実施 H29:南陵分団2班基幹車庫の外壁等改修工事を実施 鬼崎分団1班火の見櫓取り壊し工事を実施 鬼崎分団1班のホース塔建築工事を実施 H30:南陵分団3班基幹車庫の外壁等改修工事を実施 火の見櫓の取り壊し工事を実施(大野、樽水、坂井)	消防本部
	評価:a		▲旧消防団車庫の取壊し、現基幹車庫の耐震化を計画的に実施していく必要がある。	
5241-15	陶の森陶芸研究所の施設改修を実施します。	○建物のデザインに配慮しながら、外壁面及び軒下の改修を実施した。 ○建物のデザインを損なわない工法等の調査・検討を実施することにより、工法を見出し、その概算費用を算出した。	とこなめ 陶の森	
評価:a		▲耐震補強の工法選定及び実施時期を検討する必要がある。		
5241-16	小学校プール機能の集約化を図ります。	○R1年度から始める小学校プールの集約化に向け、現プールの稼働状況や維持管理費などの分析、更新整備費の試算及び民間施設へのヒアリング等を踏まえ、今後におけるプール施設のあり方について、一定の方針案を検討した。	学校教育課 施設マネジメント課	
評価:a		▲中学校プールの大規模改修工事と、小学校プールの集約化について、整合を図りながら計画的に進めていく必要がある。		

## V-2 行財政運営

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(4)公共施設マネジメントの推進	5241-17	学校給食共同調理場の運営等を見直します。	○「常滑市公共施設アクションプラン」の前期建替施設の優先順位検討により、整備を優先的に進めていくこととした。 ▲基本計画の策定にあたり、建設用地、運営方法、事業手法を決定していく必要がある。	学校給食共同調理場企画課
	評価:b			
	5241-18	未利用建物を解体します。	○老朽化した未利用建物及び借地上に建設された未利用建物を解体した。 ▲未利用建物取壊し後の跡地の有効活用又は売却処分の検討を進めていく必要がある。	総務課
	評価:b			
(5)ボートレースとこなめの適切な運営	5251	競艇場の施設やファンサービスの充実に努め、来場促進や売上向上を図ります。	○H30年度に県内3か所目の場外発売場として「ボートレースチケットショップ高浜」を開設した。 ○H28年度から地方公営企業法の全部適用へ移行した。 ○H29年度にホームページの全面リニューアルを行った。 ○一般会計へ繰出金を拠出した。(H28:2億円、H29:4億円、H30:4億円)	ボートレース事業局
	評価:a			

## V-3 広域行政

項目	実行計画コード	計画内容	取組状況及び実績・課題等(H28~30)	担当課
(1)広域的な協力体制の整備	5311	広域連携について情報収集し、また、必要に応じて関係市町等と調査・研究します。	○旅券事務の広域化として、関係市町による検討会議を重ね、H31年4月から3市3町(半田市・常滑市・高浜市・阿久比町・南知多町・武豊町)でパスポートセンター(半田市)を開設した。 ○「中部国際空港を核とした知多地域振興協議会」において、JETROと連携し、産地商談会やムスリム旅行者受入セミナーを開催した。	市民窓口課企画課
	評価:a			

【資料編：行財政改革の取組状況(33項目)】

No	取組項目	主な取組内容	担当課										
<b>1 投資的事業の抑制</b>													
※「前期基本計画」においては、既に財政的に無理のない範囲に抑制したものを組み込んでいることから、個別項目として取り上げません。													
<b>2 施設のマネジメント</b>													
2-1	施設総量の適正化	<p>・H29年度に「公共施設アクションプラン」を策定した。 ・「公共施設アクションプラン」に従い、体育練習場をH30年度末で用途廃止とした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般会計における 延床面積削減率</td> <td>0% (H27年度)</td> <td>「常滑市公共施設 アクションプラン」 策定</td> <td>▲1.6%</td> <td>R6年度までに ▲10%</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	一般会計における 延床面積削減率	0% (H27年度)	「常滑市公共施設 アクションプラン」 策定	▲1.6%	R6年度までに ▲10%	企画課、 関連課室
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)									
一般会計における 延床面積削減率	0% (H27年度)	「常滑市公共施設 アクションプラン」 策定	▲1.6%	R6年度までに ▲10%									
2-2	旧市民病院跡地の 活用検討	<p>・H29年度に市場調査アンケート・事業者向け個別ヒアリングを実施。 ・H30年度に土地利用の方針を決定。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売却額</td> <td>—</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>(実績額)</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	売却額	—	0円	0円	(実績額)	企画課、 関連課室
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)									
売却額	—	0円	0円	(実績額)									
2-3	図書館のあり方検討	・H30年度に図書館本館の耐震診断を実施。耐震診断結果、老朽化の状況等の課題整理を行い、文化施設の複合化を実施するまでの間、暫定的に図書館本館機能を分散・移転する方針とした。	生涯学習 スポーツ課										
2-4	北・南学校給食 共同調理場の統合検討	・H30年度に「公共施設アクションプラン」にて前期建替となっている施設の優先順位を検討し、学校給食共同調理場を優先的に進めていくことになった。	学校給食 共同調理場、 関係課室										
2-5	老朽化した 公営住宅の縮小	<p>・H29年度に4棟、H30年度に2棟解体した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設削減数</td> <td>—</td> <td>4棟</td> <td>6棟 (H30:2棟)</td> <td>4年間で 10棟</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	施設削減数	—	4棟	6棟 (H30:2棟)	4年間で 10棟	都市計画課
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)									
施設削減数	—	4棟	6棟 (H30:2棟)	4年間で 10棟									
2-6	施設の定期点検の実施	・当初予算要求に合わせ、施設所管課において「施設点検マニュアル」による定期点検を実施し、施設マネジメント課による精査を実施した。	施設マネジメント課、 関連課室										
2-7	公益的施設用地の 活用検討	・現在は駐車場として使用しているため、将来的な活用に向け情報収集を行った。	企画課										

No	取組項目	主な取組内容	担当課															
<b>3 民間活力の活用</b>																		
3-1	指定管理者制度の見直し	・「指定管理者制度運用方針」を改訂し、13施設にて令和元年度からの指定管理者を選定・決定した。	企画課、 関連課室															
3-2	民間委託の推進	<p>・H30年6月から水道課窓口業務を民間に委託した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新たに民間委託した業務数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1業務 (H30:水道課 窓口業務)</td> <td>4年間で 2業務</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	新たに民間委託した業務数	—	—	1業務 (H30:水道課 窓口業務)	4年間で 2業務	企画課、 関連課室					
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)														
新たに民間委託した業務数	—	—	1業務 (H30:水道課 窓口業務)	4年間で 2業務														
3-3	鬼崎南保育園の民営化	・「子ども・子育て支援事業計画」にそってH30年4月から鬼崎南保育園を民営化した。	こども課															
<b>4 事務事業・行事等・補助事業の見直し</b>																		
4-1	効果的な情報発信の推進	<p>・新しい情報について、市ホームページのトップページから閲覧できるようにするなど新鮮な情報の提供に努めた。</p> <p>・公式フェイスブックへの投稿により積極的な広報活動を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームページアクセス数</td> <td>212万件/年 (H28年度推計)</td> <td>179万件/年</td> <td>194万件/年</td> <td>223万件/年 以上</td> </tr> <tr> <td>フェイスブック「ええね!常滑市」のいいね!数(累計)</td> <td>1,969 (H28年度推計)</td> <td>2,149</td> <td>2,259</td> <td>2,810以上</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	ホームページアクセス数	212万件/年 (H28年度推計)	179万件/年	194万件/年	223万件/年 以上	フェイスブック「ええね!常滑市」のいいね!数(累計)	1,969 (H28年度推計)	2,149	2,259	2,810以上	秘書広報課
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)														
ホームページアクセス数	212万件/年 (H28年度推計)	179万件/年	194万件/年	223万件/年 以上														
フェイスブック「ええね!常滑市」のいいね!数(累計)	1,969 (H28年度推計)	2,149	2,259	2,810以上														
4-2	市民協働の推進	・年4回、3地区で高齢介護課、社会福祉協議会と共同で地域の超高齢社会について検討する会議「安心生活検討会」を地域住民と市職員で実施した。	安全協働課															
4-3	庁用バス等のあり方の検討	<p>・H29年度は北部バス運転管理業務を民間に委託した。</p> <p>・H30年度は庁用バス、スクールバスの運行(運転手)の委託について検討した。</p>	安全協働課 学校教育課															
4-4	マイナンバー制度の活用	<p>・マイナンバーカード交付申請相談窓口の開設や、交付できるコンビニ事業者を新たに追加するとともに周知を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>証明書におけるコンビニ交付率</td> <td>0.8% (H28年12月末)</td> <td>1.90%</td> <td>2.7%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	証明書におけるコンビニ交付率	0.8% (H28年12月末)	1.90%	2.7%	5%	市民窓口課、 企画課					
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)														
証明書におけるコンビニ交付率	0.8% (H28年12月末)	1.90%	2.7%	5%														

No	取組項目	主な取組内容	担当課										
4-5	クリーンセンター常武の手数料見直し検討	<p>・H30年4月から10キロ当たり100円の手数料を徴収した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手数料収入</td> <td>0円 (H28年度)</td> <td>30年度から有料化とし、 周知</td> <td>6,972千円</td> <td>(実績額)</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	手数料収入	0円 (H28年度)	30年度から有料化とし、 周知	6,972千円	(実績額)	生活環境課
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)									
手数料収入	0円 (H28年度)	30年度から有料化とし、 周知	6,972千円	(実績額)									
4-6	旅券発行事務の広域化	<p>・3市3町で負担割合や規約内容について検討し、H31年3月28日に半田市と旅券事務の委託に係る規約を締結した。</p> <p>・H31年4月1日から半田市クラシティ内にパスポートセンターが開設された。</p>	市民窓口課、 企画課										
4-7	その他事務の広域化の検討	<p>・5市5町の首長で組織する市町会や、名古屋市近隣市町村長懇談会の下部組織である広域連携に関する研究会で情報収集に努めた。</p>	企画課										
4-8	土地開発公社の解散	<p>・H30年10月26日をもって解散した。</p>	総務課										
4-9	借地における未使用の普通財産(建物)の処分	<p>・H30年度に旧大野保育園の取り壊しを実施し、借地を解消した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借地解消による 効果額</td> <td>—</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>(実績効果額)</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	借地解消による 効果額	—	0円	0円	(実績効果額)	総務課
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)									
借地解消による 効果額	—	0円	0円	(実績効果額)									
4-10	統一的な基準による地方公会計制度	<p>・統一的な基準による財務書類(普通会計・全体会計・連結会計)を作成・公表した。</p>	総務課										
4-11	下水道事業の地方公営企業法適用	<p>・R2年度からの地方公営企業法一部適用に向け、事務手続きを進めた。</p>	下水道課										
<b>5 職員人件費の抑制</b>													
5-1	行政組織の適正化	<p>・H30年4月に施設マネジメント課を設置。</p>	企画課										
5-2	組織の活性化	<p>・H29年度は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にて、若手職員による庁内推進チームを設置し、横連携で事業の実施を図った。</p> <p>・H30年度からは若手職員によるシティプロモーション庁内推進チームを組織した。</p>	企画課										

No	取組項目	主な取組内容	担当課															
5-3	職員定数の適正化	<p>・「第6次定員適正化計画」に基づき適正な定員管理に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>478人 (H28年4月1日)</td> <td>483人 (H30年4月1日)</td> <td>488人 (H31年4月1日)</td> <td>484人 (第6次定員適正化計画値)</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	職員数	478人 (H28年4月1日)	483人 (H30年4月1日)	488人 (H31年4月1日)	484人 (第6次定員適正化計画値)	職員課					
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)														
職員数	478人 (H28年4月1日)	483人 (H30年4月1日)	488人 (H31年4月1日)	484人 (第6次定員適正化計画値)														
5-4	市民に信頼される職員の育成	<p>・H29年度に「第4次常滑市人材育成基本指針」を策定。          ・指針に基づき、誰からも信頼される職員の育成のため、文書表現力向上研修、ハラスメント防止研修、タイムマネジメント研修、アサーティブスキルを活用した接遇研修、自治体法務検定基本法務を実施した。          ・新規採用職員を対象に新規採用職員研修、財務研修、文書管理研修を実施した。</p>	職員課															
5-5	人事評価制度の導入	<p>・新任評価者を対象に、人事評価制度研修を実施した。          ・H29年度から前年度の評価結果を、勤勉手当成績率、定期昇給及び昇任・昇格に反映した。</p>	職員課															
5-6	職員給与の適正化	<p>・H29年度は管理職手当を20%削減、特別職の期末手当について市長20%、副市長15%、教育長10%削減。          ・H30年度は特別職の期末手当について市長20%、副市長15%、教育長10%削減。</p>	職員課															
<b>6 収入増加策の推進</b>																		
6-1	市税の適正管理	<p>・適正管理に努め、収入未済額を削減できた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入未済額</td> <td>○市税 281,167千円 ○国保税 242,242千円 (H27年度)</td> <td>○市税 148,857千円 ○国保税 150,656千円</td> <td>○市税 126,681千円 ○国保税 124,695千円</td> <td>○市税 230,400千円 ○国保税 199,900千円</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	収入未済額	○市税 281,167千円 ○国保税 242,242千円 (H27年度)	○市税 148,857千円 ○国保税 150,656千円	○市税 126,681千円 ○国保税 124,695千円	○市税 230,400千円 ○国保税 199,900千円	税務課					
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)														
収入未済額	○市税 281,167千円 ○国保税 242,242千円 (H27年度)	○市税 148,857千円 ○国保税 150,656千円	○市税 126,681千円 ○国保税 124,695千円	○市税 230,400千円 ○国保税 199,900千円														
6-2	税外債権の適正管理	<p>・適正管理に努め、収入未済額を削減できた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主な税外債権 収入未済額 (22債権)</td> <td>153,310千円 (H27年度)</td> <td>148,629千円</td> <td>120,133千円</td> <td>140,400千円</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	主な税外債権 収入未済額 (22債権)	153,310千円 (H27年度)	148,629千円	120,133千円	140,400千円	企画課、 関連課室					
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)														
主な税外債権 収入未済額 (22債権)	153,310千円 (H27年度)	148,629千円	120,133千円	140,400千円														
6-3	ふるさと納税制度の拡充	<p>・H29年度にふるさと納税業務一括代行委託を開始した。          ・H30年度はふるさと納税大手ポータルサイトでの募集を開始した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附額</td> <td>16,366千円 (H27年度)</td> <td>28,771千円</td> <td>42,476千円</td> <td>44,000千円</td> </tr> <tr> <td>寄附件数</td> <td>271件 (H27年度)</td> <td>288件</td> <td>784件</td> <td>750件</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	寄附額	16,366千円 (H27年度)	28,771千円	42,476千円	44,000千円	寄附件数	271件 (H27年度)	288件	784件	750件	企画課
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)														
寄附額	16,366千円 (H27年度)	28,771千円	42,476千円	44,000千円														
寄附件数	271件 (H27年度)	288件	784件	750件														

No	取組項目	主な取組内容	担当課															
6-4	公共下水道・農業集落排水 使用料の確保	<p>・加入促進のため訪宅、PR活動に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共下水道水洗化率</td> <td>61.0% (H27年度)</td> <td>65.5%</td> <td>65.4%</td> <td>65.2%</td> </tr> <tr> <td>農業集落排水水洗化率</td> <td>84.9% (H27年度)</td> <td>86.1%</td> <td>87.1%</td> <td>87.1%</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	公共下水道水洗化率	61.0% (H27年度)	65.5%	65.4%	65.2%	農業集落排水水洗化率	84.9% (H27年度)	86.1%	87.1%	87.1%	下水道課
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)														
公共下水道水洗化率	61.0% (H27年度)	65.5%	65.4%	65.2%														
農業集落排水水洗化率	84.9% (H27年度)	86.1%	87.1%	87.1%														
6-5	農業集落排水施設使用料の 見直し	<p>・地元住民へのアナウンスや対象地区区長あて説明会を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>値上げによる効果額</td> <td>—</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>5,948千円</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	値上げによる効果額	—	0円	0円	5,948千円	下水道課					
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)														
値上げによる効果額	—	0円	0円	5,948千円														
6-6	市有地における 未利用財産の売却、貸付	<p>・市有地の売却及び貸付を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗管理指標</th> <th>起点</th> <th>実績 (H29年度)</th> <th>実績 (H30年度)</th> <th>最終目標値 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未利用財産の 新規売却及び貸付額</td> <td>—</td> <td>154,321千円</td> <td>800,722千円</td> <td>(実績額)</td> </tr> </tbody> </table>	進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)	未利用財産の 新規売却及び貸付額	—	154,321千円	800,722千円	(実績額)	総務課					
進捗管理指標	起点	実績 (H29年度)	実績 (H30年度)	最終目標値 (R2年度)														
未利用財産の 新規売却及び貸付額	—	154,321千円	800,722千円	(実績額)														